

# 北広島町立大朝小学校 校舎石綿撤去等工事

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-01	改修工事 特記仕様書 1								
A-02	改修工事 特記仕様書 2								
A-03	改修工事 特記仕様書 3								
A-04	改修工事 特記仕様書 4								
A-05	改修工事 特記仕様書 5								
A-06	改修工事 特記仕様書 6								
A-07	改修工事 特記仕様書 7								
A-08	改修工事 特記仕様書 8								
A-09	設計概要、外部仕上表								
A-10	内部仕上表 1 (改修前・後)								
A-11	内部仕上表 2 (改修前・後)								
A-12	内部仕上表 3 (改修前・後)								
A-13	内部仕上表 4 (改修前・後)								
A-14	内部仕上表 5 (改修前・後)								
A-15	配置図								
A-16	1階平面図								
A-17	2階平面図								
A-18	3階平面図								
A-19	立面図 1								
A-20	立面図 2								
A-21	断面図								
A-22	1階天井伏図 (改修前)								
A-23	1階天井伏図 (改修後)								
A-24	2階天井伏図 (改修前)								
A-25	2階天井伏図 (改修後)								
A-26	3階天井伏図 (改修前)								
A-27	3階天井伏図 (改修後)								
A-28	階段室 A 展開図 1								
A-29	階段室 A 展開図 2								
A-30	階段室 B 展開図 1								
A-31	階段室 B 展開図 2								
A-32	仮設計画図 配置図 (案)								
A-33	石綿除去等工事 仮設計画 (案)								



3 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)~(9)による。 [3.1.3]																																																																										
	2 既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) [3.1.4] [3.2.3, 4, 6] ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) [3.1.4] [3.2.3, 4, 6] ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ( ・ M4S ・ M4S1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)																																																																										
	3 既存下地の処置	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6] PDS工法及びPDS工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (9) (a)①~③による。 設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する。																																																																										
	4 アスファルト防水	屋根保護防水 [3.3.2~5] 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P2A</td> <td>A-1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m2程度</td> <td rowspan="3">乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ りんがが押え ※ JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>A-2</td> </tr> <tr> <td>A-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1B</td> <td>B-1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>B-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">P2A1</td> <td>A1-1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断 熱材3種bA (スキン層 付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50</td> <td rowspan="3">※フラット ヤーンクロス 70g/m2程度</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>A1-2</td> </tr> <tr> <td>A1-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1B1</td> <td>B1-1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>B1-2</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ※ 水 下 80mm以上 床タイル張り ※ 水 下 60mm以上</p> <p>乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <td>分類・規格</td> <td>・ 窯業系パネル I類</td> <td>・ 金属複合板</td> </tr> <tr> <td>寸法 (mm)</td> <td>幅 (mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td colspan="2">長さ：+10%、-5%、幅：±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td colspan="2">出荷時において10%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)</td> <td>標準時 550以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)</td> <td>凍結融解時 400以上 (300)</td> <td>250以上 (300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率 (%)</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率 (%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍結融解性能</td> <td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)</td> <td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td>質量500g (窯業系パネルI類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。</td> <td>質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。</td> </tr> <tr> <td>剛性 (E×I)</td> <td>-</td> <td>80,000・cm<sup>2</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>(試験方法)</td> <td colspan="2"> <p>(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンパックスルーラー又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。</p> <p>(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルII類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1~3分間で予想最大荷重に達する程度とする。</p> <p>(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。</p> <p>(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。</p> </td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	P2A	A-1	-	-	※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ りんがが押え ※ JIS R 1250	A-2	A-3	P1B	B-1	-	-	-	-	B-2	P2A1	A1-1	-	(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断 熱材3種bA (スキン層 付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	※フラット ヤーンクロス 70g/m2程度	-	A1-2	A1-3	P1B1	B1-1	-	-	-	-	B1-2	分類・規格	・ 窯業系パネル I類	・ 金属複合板	寸法 (mm)	幅 (mm)		寸法の許容差	長さ：+10%、-5%、幅：±1%		出荷時の含水率	出荷時において10%以下		曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上	300以上	(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	凍結融解時 400以上 (300)	250以上 (300)	吸水率 (%)	20以下	1以下	吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下	難燃性	不燃	表面材は不燃	耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネルI類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	剛性 (E×I)	-	80,000・cm <sup>2</sup> 以上	(試験方法)	<p>(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンパックスルーラー又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。</p> <p>(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルII類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1~3分間で予想最大荷重に達する程度とする。</p> <p>(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。</p> <p>(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。</p>
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																							
P2A	A-1	-	-	※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ りんがが押え ※ JIS R 1250																																																																							
	A-2																																																																											
A-3																																																																												
P1B	B-1	-	-	-	-																																																																							
	B-2																																																																											
P2A1	A1-1	-	(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断 熱材3種bA (スキン層 付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	※フラット ヤーンクロス 70g/m2程度	-																																																																							
	A1-2																																																																											
	A1-3																																																																											
P1B1	B1-1	-	-	-	-																																																																							
	B1-2																																																																											
分類・規格	・ 窯業系パネル I類	・ 金属複合板																																																																										
寸法 (mm)	幅 (mm)																																																																											
寸法の許容差	長さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																																											
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																																											
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上	300以上																																																																										
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	凍結融解時 400以上 (300)	250以上 (300)																																																																										
吸水率 (%)	20以下	1以下																																																																										
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下																																																																										
難燃性	不燃	表面材は不燃																																																																										
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)																																																																										
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネルI類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。																																																																										
剛性 (E×I)	-	80,000・cm <sup>2</sup> 以上																																																																										
(試験方法)	<p>(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンパックスルーラー又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。</p> <p>(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルII類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1~3分間で予想最大荷重に達する程度とする。</p> <p>(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。</p> <p>(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。</p>																																																																											

3 防水改修工事	5 改質アスファルトシート防水	<p>(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体 (幅40mm×長さ160mm×素材厚さ) を乾燥機に入れ、その温度を60±3°Cに保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム (試験薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥機」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の種間間隔が140mmになるように種間を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて種間間隔の長さを測定し、それを基準 (L1) とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び種間間隔の長さ (L2) を測る。</p> <p>吸水による長さ変化率 (ΔL) は、次式によって求める。  <math display="block">\Delta L = (L2 - L1) / L1 \times 100</math> ΔL：吸水時の長さ変化率 (%)  L1：乾燥時の種間間隔の長さ (mm) L2：吸水時の種間間隔の長さ (mm)</p> <p>(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の凍結融解水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルII類は200サイクルまでとする。)</p> <p>凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5~35°Cの清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3°Cの空气中で約2時間の凍結20±3°Cの水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。</p> <p>(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。</p> <p>試験体の大きさは、4号 (長さ400mm、幅300mm) とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号 (W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の有・無を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大ぼみ深さを測定する。</p>																																																								
	5 改質アスファルトシート防水	<p>屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2, 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4C</td> <td>C-1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>C-2</td> </tr> <tr> <td>C-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4D</td> <td>D-1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>D-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4S</td> <td>S-1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-2</td> </tr> <tr> <td>S-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S1</td> <td>S1-1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S1-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S2</td> <td>S2-1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S2-2</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等排水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	M4C	C-1	-	-	-	-	※製造所の仕様	C-2	C-3	M4D	D-1	-	-	-	-	※製造所の仕様	D-2	M4S	S-1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-2	S-3	M4S1	S1-1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S1-2	M4S2	S2-1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S2-2	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	-	E-2
	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																			
	M4C	C-1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																			
C-2																																																										
C-3																																																										
M4D	D-1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	D-2																																																									
M4S	S-1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	S-2																																																									
	S-3																																																									
M4S1	S1-1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	S1-2																																																									
M4S2	S2-1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	S2-2																																																									
工法	種別	施工箇所																																																								
P1E	E-1	-																																																								
	E-2																																																									
5 改質アスファルトシート防水	<p>屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2, 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4S</td> <td>AS-T1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-T2</td> </tr> <tr> <td>AS-J2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S1</td> <td>AS-T3</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-T4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S2</td> <td>AS-J1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-J3</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等排水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	M4S	AS-T1	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-T2	AS-J2	M4S1	AS-T3	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-T4	M4S2	AS-J1	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-J3	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	-	E-2																		
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																				
M4S	AS-T1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-T2																																																									
	AS-J2																																																									
M4S1	AS-T3	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-T4																																																									
M4S2	AS-J1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-J3																																																									
工法	種別	施工箇所																																																								
P1E	E-1	-																																																								
	E-2																																																									
5 改質アスファルトシート防水	<p>屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2, 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4S</td> <td>AS-T1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-T2</td> </tr> <tr> <td>AS-J2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S1</td> <td>AS-T3</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-T4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S2</td> <td>AS-J1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-J3</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等排水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	M4S	AS-T1	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-T2	AS-J2	M4S1	AS-T3	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-T4	M4S2	AS-J1	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-J3	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	-	E-2																		
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																				
M4S	AS-T1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-T2																																																									
	AS-J2																																																									
M4S1	AS-T3	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-T4																																																									
M4S2	AS-J1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-J3																																																									
工法	種別	施工箇所																																																								
P1E	E-1	-																																																								
	E-2																																																									
5 改質アスファルトシート防水	<p>屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2, 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4S</td> <td>AS-T1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-T2</td> </tr> <tr> <td>AS-J2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S1</td> <td>AS-T3</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-T4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S2</td> <td>AS-J1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>AS-J3</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等排水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	M4S	AS-T1	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-T2	AS-J2	M4S1	AS-T3	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-T4	M4S2	AS-J1	-	-	-	-	※製造所の仕様	AS-J3	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	-	E-2																		
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																				
M4S	AS-T1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-T2																																																									
	AS-J2																																																									
M4S1	AS-T3	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-T4																																																									
M4S2	AS-J1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																				
	AS-J3																																																									
工法	種別	施工箇所																																																								
P1E	E-1	-																																																								
	E-2																																																									

3 防水改修工事	7 塗膜防水	<p>防水層の種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( mm以上)</p> <p>脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁断熱工法の防水層シート ・ 設置する ・ 設置しない</p>																																																																																																																																																							
	7 塗膜防水	<p>防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">POS</td> <td>F1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> </table> <p>脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等排水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S4S	S4S	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	-	E-2
	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																																																																																																																		
	POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																		
S4S																																																																																																																																																									
S4S																																																																																																																																																									
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所																																																																																																																																																							
P1E	E-1	-																																																																																																																																																							
	E-2																																																																																																																																																								
7 塗膜防水	<p>防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">POS</td> <td>F1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> </table> <p>脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等排水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S4S	S4S	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	-	E-2																																																	
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																																																																																																																			
POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S4S																																																																																																																																																								
S4S																																																																																																																																																									
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所																																																																																																																																																							
P1E	E-1	-																																																																																																																																																							
	E-2																																																																																																																																																								
7 塗膜防水	<p>防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">POS</td> <td>F1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> </table> <p>脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等排水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S4S	S4S	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	-	E-2																																																																	
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																																																																																																																			
POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S4S																																																																																																																																																								
S4S																																																																																																																																																									
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
M4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所																																																																																																																																																							
P1E	E-1	-																																																																																																																																																							
	E-2																																																																																																																																																								
7 塗膜防水	<p>防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射放射率の防水</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">POS</td> <td>F1</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td>S4S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td>S-F1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-M1</td> <td rowspan="2">-&lt;/</td></tr></table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考	POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S4S	S4S	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-M2	S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様	S-F2	M4S	S-M1	-</																																																																																																													
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射放射率の防水	備考																																																																																																																																																			
POS	F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S4S																																																																																																																																																								
S4S																																																																																																																																																									
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
S4S	S-M1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-M2																																																																																																																																																								
S4S	S-F1	-	-	-	-	※製造所の仕様																																																																																																																																																			
	S-F2																																																																																																																																																								
M4S	S-M1	-</																																																																																																																																																							



5	1	改修工法	[5. 1. 3]		5	9	鋼製軽量建具	性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 5. 2~4] 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ※ 巻締めつき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書5.5.11による 使用箇所 ( ) 閉合せ、緩小口包み板の材質 ※ 鋼板 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による	5	15	15	重量シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa 閉閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 ※ 図示 防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件 (昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの
			建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所 ・ アルミ製建具 ・ ・ ※ 建具表による ・ 樹脂製建具 ・ ・ ※ 建具表による ・ 鋼製建具 ・ 外部 ・ ・ ※ 建具表による ・ ・ 内部 ・ ・ ※ 建具表による ・ 鋼製軽量建具 ・ ・ ※ 建具表による ・ ステンレス製建具 ・ ・ ※ 建具表による 新規に建具を設ける場合 建部分の開口の開け方 ※ 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示 2 防火戸 ・ 適用する 指定箇所 (※ 建具表による) [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※ 連動させる 適用箇所 (※ 建具表による) ・ 連動させない 3 見本の製作等 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない 4 防犯建物部品 ・ 適用する 適用箇所 (※ 建具表による) [5. 1. 7] 5 アルミニウム製建具 性能値等 [5. 2. 2~5] [表5. 2. 2] ・ 耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) ※ 改修標準仕様書5.2.11による種類 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: ・ 建具表による) ・ 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号: ・ 建具表による) ・ 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 種類 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・ 色合等 ※ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 屋内の建具 種類 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 ※ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 結露水の処理方法 ※ 図示 取付工法 水切り板、せん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する 6 網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3] 種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 ・ 防鳥網 ステンレス (SUS304) 編材 1.5mm 網目寸法15mm 7 樹脂製建具 [5. 2. 2] [5. 3. 2~5] 性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2] 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ( ) A-3 水密性の等級 ( ) W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性 S-4 S-5 S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) H-4 H-5 H-6 H-7 H-8 (建具符号: ・ 建具表による) ・ 外部に面する建具の日射取得性の等級 ( ) 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 取付工法 水切り板、せん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する ガラス ※ 複層ガラス 8 鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2] 性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2] 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ( ) A-3 水密性の等級 ( ) W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性 S-4 S-5 S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.21による 使用箇所 ( ) 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による	性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5] [5. 7. 2, 3] 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 S-4 S-5 S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (α角 ・ β角 ・ γ角) 11 建具用金物 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※ 改修標準仕様書5.8.1及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標準仕様書5.8.5による 建具玉及びレバーハンドル、押板類、クレストの取付け位置 ※ 建具表による 錠前類 【シンダ箱錠及びシンダ本締まり錠】 (品質) デッドボルトの寸法は17mm以上とする。鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 (性能) <使用頻度による性能> 1) (シンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチングが試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 2) キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。(シンダ箱錠の場合) シンダ単体の施錠解錠繰り返し試験は、シンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3) キーによる施錠機構の施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の場合にシンダが回転でき、かつ、1面1段差違い刻みをもつ異なるキーでは、シンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする) <外力に対する性能> 1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。 2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行なった後、加圧板がデッドボルトを通過しないこと。 3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (デッドボルトの突出量が8mm未満) にならないこと。 4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。 5) (シンダ本締まり錠はグレード3以上の形錠錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロコケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 <使用頻度に対する性能 (シンダ箱錠のみ) > 1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 2) レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作用していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 3) 握り玉のねじり強度試験 (3KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作用していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 4) ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作用していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 5) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作用していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 <錠> 1) かぎ (鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。 2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。 試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般-第1部: 試験方法) による。 【レバーハンドル】 (性能) <ねじり強度> レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作用していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。 <引張り強度> ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作用していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。 <垂直荷重強度> ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作用していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。 試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般-第1部: 試験方法) による。									



Table with 4 columns: 種別, 施工箇所, 工法, 仕上げの種類. Includes sections for 22 合成樹脂塗床, 23 防じん用塗床, 24 フローリング張り, 25 畳敷き, 26 セッコウボードその他ボード及び合板張り.

Table with 4 columns: 種別, 工法, 樹種, 厚さ (mm), 間伐材等の適用. Includes sections for 27 壁紙張り, 28 モルタル塗り, 29 タイル張り.

Table with 4 columns: 種別, 工法, 樹種, 厚さ (mm), 間伐材等の適用. Includes sections for 30 セルフレベリング材塗り.

Table with 4 columns: 種別, 工法, 樹種, 厚さ (mm), 間伐材等の適用. Includes sections for 31 塗装改修工事, 32 耐震改修工事.



9 1 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1.3~5]

環境配慮改修工事

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計点	・ 計点
測定2	調査対象室外部の付近	調査対象室外部の付近	・ 計点	・ 計点
測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計点	・ 計点
測定4	セキユリゾーン入口	セキユリゾーン入口	・ 計1点	・ 計1点
測定5	集じん・排気装置の排出口	集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/s以下	・ 計点
測定6	(処理作業室外の場合)	(処理作業室外の場合)	・ 計点	・ 計点
測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・ 計1点	・ 計1点
測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	・ 計点	・ 計点
測定9	(シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・ 計点	・ 計点

測定方法  
・ 自動測定器による測定

測定名称 測定方法  
・ 測定4 測定5 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、  
測定( ) 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

○ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)
測定4 測定5 測定( )	25	5	30
測定( )	47	10	120
測定( )	47	10	240
測定( )			

石綿含有建材の処理

○ 石綿含有吹付け材の除去  
除去対象範囲 ※ 図示  
除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2) (7)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化  
除去した石綿含有吹付け材等の処分  
○ 埋立処分(管理型最終処分場) ※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)  
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定に  
よりがたい場合は、監督職員と協議すること。

・ 石綿含有保温材等の除去  
除去対象範囲 ※ 図示  
除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去  
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化  
除去した石綿含有保温材等の処分  
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去  
除去対象範囲 ※ 図示  
除去した石綿含有成形板の処分  
・ 石綿含有石膏ボード  
※ 埋立処分(管理型最終処分場)  
・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板  
・ 埋立処分(安定型最終処分場)  
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去  
除去対象範囲 ※ 図示  
養生方法  
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分  
・ 埋立処分(安定型最終処分場)  
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去  
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による  
除去工法 ※ 石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号)第6条  
による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法  
・ 集じん装置併用手工具ケレン工法  
・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度)  
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)  
・ 超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用)  
・ 剥離剤併用手工具ケレン工法  
・ 剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa程度)  
・ 剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上)  
・ 剥離剤併用超音波ケレン工法  
・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

除去対象範囲 ※ 図示  
作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う  
試験施工 ※ 行わない ・ 行う  
養生方法

除去した石綿含有仕上塗材の処分  
・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 埋立処分(管理型最終処分場)  
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)  
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分  
※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による  
確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4) (7)、(8)及び(9)による

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示

2 外断熱改修工事 [9.2.1~4]

断熱材  
断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)  
施工箇所 ※ 図示  
ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆

外装材

種類	防火性能	備考
既存外壁の処置		
既存外壁仕上材の撤去	・ あり ・ なし	
下地の清掃	・ 行う ・ 行わない	
欠損部がある場合の改修工法	※ 4章外装改修工事による	

工法  
1章 適用区分による風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
不陸等の下地調整 ※ 図示  
通気層の有無 あり( mm) ・ なし  
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け  
※ 断熱材及び外装材製造の仕様による

9 3 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]

環境配慮改修工事

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※ F☆☆☆☆  
・ 断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)	※ 2種 bA ※ 25	※ 外壁
	※ 3種 bA ※ 25	※ スラブ
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・
・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による

・ 断熱材現場発泡工法  
断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H  
吹付け厚さ(mm) ※ 25 ・ 30  
施工箇所 ※ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所  
・ 図示

現場発泡断熱材 (品質・性能)

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカロリー試験)に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 (2) 防火上有きな表面まで貫通する亀裂及びがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m <sup>2</sup> を超えないこと。

(試験方法)  
(1) 原液試験(原液粘度試験)  
JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。  
(2) 発泡品試験  
1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。  
2) 試料の性状調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。  
3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。  
4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。  
5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。  
6) 透湿強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。  
7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。  
(3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。  
1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。  
2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

・ 断熱材後張り工法  
断熱材の種類 ( )  
断熱材の厚さ ( mm)  
・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ mm)

・ 張り付け工法  
断熱材の張り付け工法  
断熱材へのボードの張り付け工法

4 屋上緑化改修工事 [9.4.2~4]

植栽基盤及び材料  
屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない  
芝及び地被類の種類等 ※ 図示  
見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示

(品質・性能等)

項目	品質・性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m <sup>2</sup> ・h以上
耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>4</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

(試験方法)  
(1) 排水基盤の耐荷重性能  
(イ) 3×10<sup>4</sup> N/m<sup>2</sup>の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起かないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。)  
(ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

1章 適用区分による風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
かん水装置 ・ 設置する(種類 )  
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年

5 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~5、9]

下記以外は、10章その他による

既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

10 1 フリーアクセスフロア (2.0.2.2)

構造

・ 置敷式	・ 支柱調整式
所定荷重 ※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6
パネル寸法(mm)	・ 1.0 ・ 0.6
高さ(mm)	
表面仕上材	※ タイルカーペット ※ タイルカーペット ※ 帯電防止床タイル ※ 帯電防止床タイル
施工箇所	※ 図示 ※ 図示
寸法精度	※ 標準仕様書20.2.2(2)(イ)~(ロ)による
スロープ及びびりゲダー	※ 製造所の仕様による ・ 図示
配線用取り出しパネル	フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント
配線取り出し開口	※ 製造所の仕様による ・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上
空調用吹き出し(吸い込み)パネル	・ なし ・ あり(形式、施工箇所: ※ 図示)

(性能)  
(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下  
(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと  
(3) ローリングロード性能  
所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下  
(4) 耐震性能

イ) 固定台試験による耐震性能

項目	性能
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上
②上記①以外の部分耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上
③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下

<適用地震時水平力>  
3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重  
(m<sup>2</sup>当り自重+3,000N)/m<sup>2</sup>当りの支柱本数×0.6  
3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重  
(m<sup>2</sup>当り自重+3,000N)/m<sup>2</sup>当りの支柱本数×1.0  
5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重  
(m<sup>2</sup>当り自重+5,000N)/m<sup>2</sup>当りの支柱本数×0.6  
5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重  
(m<sup>2</sup>当り自重+5,000N)/m<sup>2</sup>当りの支柱本数×1.0

ロ) 振動台試験による耐震性能(設計床高さ≦300mmの場合のみ)  
振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。  
(5) 耐震性能  
建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒  
(6) 帯電防止性能評価値(U)  
0.6以上  
(7) 感電防止性能  
漏えい抵抗(R)≧1×10<sup>6</sup>Ω  
(8) 歩行感  
通常の歩行において空洞音やたつきがなく、歩行感に違和感がない  
(9) メンテナンス性  
交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。

(試験方法)  
(1) 耐震性能  
1) 設計床高さ≦300mmの場合  
試験体ユニット1000mm×2500mm程度  
所定の重りの質量 3000N・200kg 5000N・350kg  
加振 0.6:所定加速度600cm/s<sup>2</sup> 1.0:所定加速度1000cm/s<sup>2</sup>  
2) 300mm<設計床高さ≦600mmの場合  
①固定台による耐震性能試験  
イ、支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。  
ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-2はパネル連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。  
②試験方法-1  
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。  
ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。  
③試験方法-2  
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。  
ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N(3,000N/1m<sup>2</sup>相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。  
④零点補正及び測定記録  
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。

3) 共通事項  
試験に使用する表面仕上げ材  
種類: タイルカーペット 繊維素材: ナイロン100%  
バイル形態: ループバイル  
バイル長: 3.0mm~4.0mm パッキング素材: 塩化ビニル樹脂  
全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0kg/m<sup>2</sup>~6.0kg/m<sup>2</sup>  
人体耐電圧: 2KV以下

10 2 表示 (2.0.2.11)

案内用記号はJIS Z 8210による。  
誘導標識、非常用進入口の表示 ※ 消防法に適合する市販品  
室名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等  
※ 図示

3 ブラインド (2.0.2.14)

形式	操作方式	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ	取付箇所
・ 横形	※ 手動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示	※ 図示
・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※ 図示	※ 図示

アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ  
クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工

4 ロールスクリーン (2.0.2.15)

材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考
・ ガラス繊維製	・ 電動式	・ 1級	※ 図示	※ 図示	
・ 合成・天然繊維製	・ スプリング式	・ 2級			
・ 木製	・ チェーン式	・ 3級			

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料  
※ 製造所の仕様

5 カーテン (2.0.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ シングル・片引き ・ ダブル・引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ		※ 図示	(縮幅)

6 カーテンレール (2.0.2.16)

材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材  
ステンレス製  
強さによる区分 ※ 10-90  
仕上げ ※ アルマイト  
形状 ※ 角形

7 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ(mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示  
材質 ・ 集成材(仕上げ )  
・ アルミニウム製 押出し型材(市販品)  
表面処理 ・ BC-1 ・ BC-2(※標準色( )) ・ 特注色( ))  
・ 鋼製(仕上げ: )

8 天井点検口

材質	寸法(mm)	形式	外枠	内枠
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一般形	※ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 縦線タイプ ※ 目地タイプ ※ 目地タイプ

(品質・性能)  
内外枠の材質 アルミニウム製  
JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの  
表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(A6)又は同等の性能を有するもの  
(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)  
内枠及び外枠のコーナーピース  
鋼板に垂れ込み等々の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの  
外枠の取付け金物  
鋼板に垂れ込み等々の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの  
内枠の仕上げ材取付金物  
アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、垂れ込み鋼板又は同等の性能を有するもの  
耐久性能(繰り返し閉開試験)  
(1) 50回、100回、300回の内蓋の重ね下り後、0.5mm以内。  
(2) 閉開試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。  
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内  
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内  
(試験方法)  
内蓋(内枠)の繰り返し閉開試験  
(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。  
吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野線の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」の6B-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。  
(2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。  
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回以内蓋の重ね下り後状態を測定する。

10	9	床点検口	材質	寸法 (mm)	形式	備考		
			・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き	
			密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)					
			部材名	材質	屋内外用	屋内用		
			受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15				
				ステンレス製 SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度				
			鋼製	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの				
			二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200			
			その他	塩化ビニル樹脂製等				
			目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604			
ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304							
底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1	JIS G 4305のSUS304						
	JIS G 4308のSUS304	JIS G 4308のSUS304						
アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24)	-						
	表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	-						
鋼材	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの							
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの							
アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの							
取手	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする							
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする							
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。							
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。								
10	手すり	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所			
		・集成材	・クラアラッカー	・35・45				
		・ステンレスパイプ	・HL程度					
		・鋼製パイプ	・SOP・EPG					
・ビニル製ハンドレール								
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ・アルミニウム既製品 ・ビニル既製品						
		(11.2.2、19.2.2)						
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)			
		屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7.0			
			・セラミックタイル	※300×300	・			
		屋外	・レジンコンクリート製	※300×300	・			
・コンクリート製								
・セラミックタイル	※300×300	・						
・レジンコンクリート製	※300×300	・						
・コンクリート製								
突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による								
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)						
		種類の記号	呼び	備考				
		※SD295A	※D16以下					
※SD345	※D19以上							
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)						
		種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考				
※溶接金網								
・鉄筋格子								
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)						
		鉄筋の継手の方法等 ※重ね継ぎ手						
		鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする						
		鉄筋の定着長さ ※柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による						
機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による 種類 ・摩擦圧接接合 ・縦合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定								

10	16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)								
			※普通コンクリート								
			設計基準強度 (F <sub>c</sub> )	スランプ (cm)	適用箇所						
			[N/mm <sup>2</sup> ]								
			※24	※標準仕様書表6.2.2による	※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)						
			(品質・性能)								
			(1) パネル								
			項目	品質・性能							
			表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。							
			裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。							
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材										
処理を施した材料とする。											
小口	防水処理を施す。										
(2) 構造金物											
項目	品質・性能										
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。										
(3) 付属金物											
項目	品質・性能										
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。										
ラッチセット	戸当り部は、使用に十分耐える材質であるものとする。										
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。										
(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による											
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性											
項目	品質・性能										
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性									
	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。										
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれか品質に適合していること。										
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。									
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。										
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。										
(試験方法)											
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。											
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。											
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上											
10	17	セメント	種類 (6.3.1)								
			※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種								
			・高炉セメントB種								
			・フライアッシュセメントB種								
			10	18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)					
						せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※12mm)					
						・メッシュ型枠					
						・断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m <sup>2</sup> ・K・Ca <sup>-1</sup> 以上					
						10	19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)		
									種類	設計基準強度 (F <sub>c</sub> )	スランプ (mm)
[N/mm <sup>2</sup> ]											
※普通コンクリート	※18	※15									
※標準仕様書6.14.1(4)(7)~(h)による											
(品質・性能)											
(1) パネル											
項目	品質・性能										
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。										
裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材										
処理を施した材料とする。											
小口	防水処理を施す。										
(2) 構造金物											
項目	品質・性能										
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。										
(3) 付属金物											
項目	品質・性能										
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。										
ラッチセット	戸当り部は、使用に十分耐える材質であるものとする。										
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。										
(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による											
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性											
項目	品質・性能										
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性									
	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。										
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれか品質に適合していること。										
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。									
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。										
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。										
(試験方法)											
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。											
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。											
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上											
10	20	床コンクリート直均し仕上げ	(8.1.4)(表8.1.5)								
			仕上げの平たんさは、図示以外は下記による								
			改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類別								
			施工箇所								
			a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式)							
			b種	カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り							
			c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式)							
			(品質・性能)								
			(1) パネル								
			項目	品質・性能							
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。										
裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材										
処理を施した材料とする。											
小口	防水処理を施す。										
(2) 構造金物											
項目	品質・性能										
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。										
(3) 付属金物											
項目	品質・性能										
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。										
ラッチセット	戸当り部は、使用に十分耐える材質であるものとする。										
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。										
(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による											
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性											
項目	品質・性能										
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性									
	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。										
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれか品質に適合していること。										
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。									
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。										
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。										
(試験方法)											
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。											
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。											
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上											
10	21	あと施工アンカー	(14.1.3)								
			6章内装改修工事 軽重量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による								
			あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない								
			(品質・性能)								
			(1) パネル								
			項目	品質・性能							
			表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。							
			裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。							
			心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。							
			枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材							
処理を施した材料とする。											
小口	防水処理を施す。										
(2) 構造金物											
項目	品質・性能										
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。										
(3) 付属金物											
項目	品質・性能										
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。										
ラッチセット	戸当り部は、使用に十分耐える材質であるものとする。										
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。										
(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による											
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性											
項目	品質・性能										
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性									
	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。										
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれか品質に適合していること。										
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。									
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。										
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。										
(試験方法)											
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。											
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。											
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上											
10	22	トイレブース	(20.2.5)								
			表面材の材料								
			脚部	ドアエッジ							
			形状	材質							
			※メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※アルミニウム製						
			・ポリエステル樹脂系化粧板		・ステンレス製						
					・表面材と同材						
			(品質・性能)								
			(1) パネル								
			項目	品質・性能							
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。										
裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。										
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材										
処理を施した材料とする。											
小口	防水処理を施す。										
(2) 構造金物											
項目	品質・性能										
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。										
(3) 付属金物											
項目	品質・性能										
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。										
ラッチセット	戸当り部は、使用に十分耐える材質であるものとする。										
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。										
(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による											
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性											
項目	品質・性能										
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性									
	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。										
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれか品質に適合していること。										
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。									
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。										
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。										
(試験方法)											
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。											
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。											
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上											

計 画 概 要	凡 例		防火性能認定番号	特記事項
<p><b>建物概要</b></p> <p>建築主 北広島町長  建築主住所 〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田1234</p> <p>敷地の場所 〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝4676-1  敷地面積 6,186.82㎡  前面道路 前面道路：4.0m  用途地域 都市計画区域外  防火地域 指定なし  その他区域</p> <p>施設名称 大朝小学校 校舎  建物用途 建築基準法区分：(08080)小学校 防火対象物区分(7)項  面積 建築面積：668.42㎡  延床面積：1,920.96㎡  (1階：691.04㎡、2階：614.96㎡、3階：614.96㎡)</p> <p>構造 RC造 3階建て  建物高さ 最高高：11.700m 軒高：11.400m  建蔽率  容積率  その他 建設：1981年(昭和56年)  大規模改修：1998年(平成10年)  屋根改修、E.V棟増築、バリアフリー化、耐震改修</p> <p><b>工事概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各室梁型石綿撤去</li> <li>階段室上裏石綿固化</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ol>	<p>一 般</p> <p>C : コンクリート  M : モルタル  EM : エポキシ樹脂系モルタル  CB : コンクリートブロック  S : 鉄骨  LGS : 軽量鉄骨(一般形鋼、軽量形鋼)  W : 木組下地  SGP : 配管用炭素鋼鋼管  VP : 硬質塩化ビニル管(一般管)  VU : 硬質塩化ビニル管(薄肉管)  VB : バイブレーション仕上(ステンレス)  GL : カラーガルバリウム鋼板  As : アスファルト  RD : ルーフドレン  SF : 鋼製床組  TB : トイレブース  CB : カーテンボックス  SB : スクリーンボックス  LB : ライトボックス</p> <p>ボ ー ド 類</p> <p>GB-R : 石膏ボード  GB-F : 強化石膏ボード  GB-RH : 普通硬質石膏ボード  GB-P : 吸音用穴孔石膏ボード  GB-S : シーリング石膏ボード  GB-D : 化粧石膏ボード  GB-W : 化粧石膏ボード(木目)  ケイカル : けい酸カルシウム板  スレート : セメントスレート板  F : フレキシブル板  DR : ロックウール化粧吸音板</p> <p>仕上見切を示す  シーリングを示す  耐震スリットW20を示す</p>	<p>左 官</p> <p>RE : 可とう形改修塗材RE  外薄塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材  複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材</p> <p>塗 装</p> <p>SOP : 合成樹脂調合ペイント塗  OP : 油性調合ペイント塗  VE : 塩化ビニル樹脂エナメル塗  CL : クリヤラッカー  FE : フタル酸樹脂エナメル塗  NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗  AE : アクリル樹脂エナメル  DP : 耐候性塗料塗  EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗  EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗  EP-T : 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗  UC : ウレタン樹脂ワニス塗  MR : マスチック塗材塗  OS : オイルステイン塗  WP : 木材保護塗料塗  EP-AB : 吹付け水性高機能環境配慮型塗料</p> <p>シ ー リ ン グ</p> <p>SR-1 : シリコーン系  SR-2 : シリコーン系  MS-2 : 変成シリコーン系  PU-2 : ポリウレタン系  PS-2 : ポリサルファイド系</p>	<p>GB-R 厚9.5 : 準不燃 QM-9828  GB-R 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8619  GB-F 厚9.5~25.0 : 不燃 NM-8615  GB-RH 厚9.5 : 不燃 NM-8645  GB-NC 厚9.5 : 不燃 NM-8613  GB-S 厚9.5~16.0 : 準不燃 QM-9826  GB-D 厚9.5 : 準不燃 QM-9824  GB-D 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8614  DR 厚9.0 : 不燃 NM-8599  GW-F : 不燃 NM-8600  GW-B : 不燃 NM-8600  ケイカル板 厚5~12.0 : 不燃 NM-8576</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>参考品番は改修特記仕様書8に記載している。</li> <li>特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。</li> <li>内部仕上表の地下欄( )は既設部分を示す。</li> <li>材料加工に先立ち寸法を実測し、実状に合った寸法に加工する。</li> <li>アスベスト事前調査は実施済で、調査報告書は教育委員会へ提出している。</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ol> <p>石綿含有建材</p> <p>レベル1(みなし)：軽量塗材(パーライト)吹付  レベル1：吸音材厚9吹付  レベル3(みなし)：ビニル床タイル厚2.0、ビニル床シート厚2.5、DR厚9.5  レベル3：ソフト巾木(接着剤)</p> <p>石綿事前調査者：AK建築設計事務所 小泉満(修了番号：2306220711、講習機関名：SAT株式会社)</p>

内部仕上表 (改修前・後)

階数	室名	区分	床			巾木			壁			天井			天井高	備考
			下地	仕上	床高	下地	仕上	床高	下地	仕上	床高	下地	仕上	床高		
1階	玄関	改修前	C+M 既設	磁器タイル100タイル、既設のまま 階段部、ビニル床タイル厚2.0 ノンスリップ塗物 撤去	300	セラノフロック厚20 既設	C+M 既設	機着塗材E S100系切	既設のまま 既設のまま	0	LGS 既設	樹脂化粧鋼板スチンドレル 塗膜撤去	鋼製 D.P.塗料	3.070	スチンドレル、下足入、オフショ、卒業記念(取外し) 指示板(取外し)	
		改修後	C+M 既設	磁器タイル100タイル 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共 ノンスリップ塗物 新設	300	セラノフロック厚20	C+M 既設	EP塗替え (機着塗材E) (LGS塗替)		0	(LGS)	樹脂化粧鋼板スチンドレル	機着 D.P.塗料	3.070	スチンドレル、下足入、オフショ、卒業記念(再取付) 指示板(再取付)	
	廊下	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	機着塗材E 耐摩アクリット部、ノンスリップ厚20 撤去	既設のまま	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま 梁型、機着塗材E塗	塩ビ製 既設	2.640	指示板、扉板、行事看板、塗料、卒業記念(取外し) 機着塗材E塗、扉板、卒業記念、卒業記念(再取付) 卒業記念、卒業記念(取外し)	
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	EP塗替え (機着塗材E) 一部M.P.塗、粘り目厚10、新設、貴竹共 耐摩アクリット部、ノンスリップ厚20 新設		0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5) 梁型、EP塗替え (機着塗材E塗)	塩ビ製	2.640	指示板、扉板、行事看板、塗料、卒業記念(再取付) 指示板、扉板、新設 流し金、表共取付	
	E.V.ホール	改修前	C 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去 キックカバーH200 撤去	A.L.C 既設	機着塗材E	GB-D厚12.5(固化工法) 既設のまま	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	E.V.P (金物、防塵垂壁)既設のまま	
		改修後	C 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設 キックカバーH200 新設	A.L.C 既設	EP塗替え (機着塗材E)		0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	塩ビ製	2.640	E.V.P (金物、防塵垂壁)	
	階段室 A	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去 階段部、ビニル床タイル厚2.0 撤去 ノンスリップ塗物 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	機着塗材E 既設のまま		0	LGS C 既設	GB-D厚9.5 既設のまま 軽量塗材(パーライト)吹付 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	窓木、手すり、巾巻、塗膜撤去 掃除機入、指示板、塗料、卒業記念(取外し)	
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共 ノンスリップ塗物 新設	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	EP塗替え (機着塗材E)		0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5) 石綿飛散防止材塗(固化工法) 軽量塗材(パーライト)吹付	(塩ビ製)	2.640	窓木、手すり、巾巻、塗膜撤去 掃除機入、指示板、塗料、卒業記念(再取付)	
	廊下(階段台下)	改修前	C 既設	M塗にて美地 既設のまま	0	—	C 既設	M塗にて美地 既設のまま		0	C 既設	M塗にて美地 既設のまま	—	—	—	—
		改修後	C 既設	M塗にて美地	0	—	C 既設	M塗にて美地		0	C 既設	M塗にて美地	—	—	—	—
	階段室 B	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去 階段部、ビニル床タイル厚2.0 撤去 スロープ部、ビニル床シート厚2.0(防滑) 撤去、SIS押入金物共	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	機着塗材E 既設のまま		0	LGS C 既設	GB-D厚9.5 既設のまま 軽量塗材(パーライト)吹付 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	窓木、手すり、巾巻、塗膜撤去 戸閉、下足入、卒業記念、指示板(取外し)	
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共 スロープ部、ビニル床シート厚2.0(防滑)新設、下地調整、SIS押入金物共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	EP塗替え (機着塗材E)		0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5) 石綿飛散防止材塗(固化工法) 軽量塗材(パーライト)吹付	(塩ビ製)	2.640	窓木、手すり、巾巻、塗膜撤去 戸閉、下足入、卒業記念、指示板(再取付)	
廊下(階段台下)	改修前	C 既設	M塗にて美地 既設のまま	0	—	C 既設	M塗にて美地 既設のまま		0	C 既設	M塗にて美地 既設のまま	—	—	—	—	
	改修後	C 既設	M塗にて美地	0	—	C 既設	M塗にて美地		0	C 既設	M塗にて美地	—	—	—	—	
家庭科室	改修前	C+M 既設	ビニル床シート厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M LGS 既設	V.E塗 既設のまま 一部ビニルクロス 撤去、GB-D厚12.5 既設のまま		0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	戸閉、手洗台、窓下戸閉、アイロン台(既設のまま) C.B、S.B、既設のまま 指示板、掃除機入、洗濯機、冷蔵庫、美容台(取外し) 止り裏板、スリッパ撤去		
	改修後	C+M 既設	ビニル床シート厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M LGS 既設	EP塗替え (GB-D厚12.5) 一部V.E塗 新設		0	(LGS)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面)(別途工事)	(塩ビ製)	3.000	戸閉、手洗台、窓下戸閉、アイロン台) C.B、S.B、既設のまま 指示板、掃除機入、洗濯機、冷蔵庫、美容台(再取付) 止り裏板、スリッパ撤去		
かがやき教室	改修前	C+M 既設	ビニル床シート厚2.0 既設	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M LGS 既設	EP塗 既設のまま 一部ビニルクロス 撤去、GB-D厚12.5 既設のまま 機着塗 機着塗、既設のまま		0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	(指示板、扉板)撤去		
	改修後	C+M 既設	ビニル床シート厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M LGS 既設	EP塗替え (機着塗材E) 一部EP塗 新設 (GB-D厚12.5) 機着塗 (機着塗、機着塗)		0	(LGS)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面)(別途工事)	(塩ビ製)	3.000			
校長室	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	ビニルクロス 撤去 手洗部、磁器タイル100タイル、既設のまま 機着塗、機着塗、既設のまま		0	LGS 既設	DR厚9(直張工法)GB-D厚9.5捨て張工法 既設のまま 梁型:EP塗 M塗にて 既設のまま	塩ビ製 既設	3.000	窓下戸閉、C.B、既設のまま 卒業記念、指示板、戸閉、塗料、掃除機入(取外し) 表共取付撤去		
	改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	ビニルクロス 新設 手洗部 (磁器タイル100タイル) 機着塗 (機着塗、機着塗)		0	(LGS)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗替え、M塗にて	塩ビ製	3.000	窓下戸閉、C.B 行事看板、指示板、戸閉、塗料、掃除機入(再取付) 表共取付撤去		
職員室	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	EP塗 既設のまま 機着塗、機着塗、既設のまま		0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	窓下戸閉、指示板、C.B、天井取付口、既設のまま 戸閉、扉板、ホワイトボード、行事看板、指示板(取外し)		
	改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	EP塗替え (機着塗材E)		0	(LGS)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面)(別途工事)	(塩ビ製)	3.000	窓下戸閉、C.B、天井取付口 戸閉、扉板、ホワイトボード、行事看板、指示板(再取付)		
倉庫(廊)	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	EP塗 既設のまま		0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	網(床型)取外し		
	改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	EP塗替え		0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	2.640	網(床型)再取付		
更衣室(廊)	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	EP塗 既設のまま		0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	ロッカー(取外し)		
	改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設、下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	EP塗替え		0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	塩ビ製	2.640	ロッカー(再取付)		

内部仕上表 (改修前・後)

階数	室名	区分	床			巾木	壁			天井			天井高	備考
			下地	仕上	床高		下地	仕上	腰高	下地	仕上	廻縁		
1階	廊下(廊)	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	VE塗 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま	塩ビ製 既設	3.000	
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	VE塗替え (撤去後)	0	LGS 既設	EP-A塗 新設 (DR厚9(直張工法))	(塩ビ製)	3.000	
	印刷室	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	VE塗 既設のまま	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	3.000	窓下収納、C面(既設のまま) 欄干(可動欄干)取付
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	VE塗替え	0	LGS 既設	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	3.000	窓下収納、C面(既設のまま) 欄干(可動欄干)再取付
	講義室	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	—	C+M 既設	VE塗 既設のまま 植栽壁E100タイル 既設のまま	1.800	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	戸棚、流し台(既設のまま) 冷庫庫内取付(可動欄干)撤去
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共	0	—	C+M 既設	VE塗替え (植栽壁E100タイル)	1.800	LGS 既設	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	2.640	戸棚、流し台 冷庫庫内取付 可動欄干(欄干)新設
	放送室	改修前	C+M 既設	カーペット 撤去	0	SOP塗 枠H100 既設	C+M 既設	ポリウレタン化粧散材厚10 撤去 真鍮製コーナーポスト 撤去 暖突壁 換気シロカ 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚12(GB-D厚9.5捨て工法) 既設のまま	塩ビ製 既設	3.000	配線ボックス(木製)、欄(戸棚)取外し C面(既設のまま)
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 床取合(シーリング)MR-2新設	0	SOP塗替え(枠H100)	C+M 既設	ガラス(暖突材厚10) 新設 真鍮製コーナーポスト 新設 暖突壁 (換気シロカ)	0	LGS 既設	EP-A塗 新設 (DR厚12/GB-D厚9.5捨て工法)	(塩ビ製)	3.000	配線ボックス(木製)、欄(戸棚)再取付 C面
	物入	改修前	C+W 既設	普通合板厚5.5 既設のまま	0	(雑巾櫃)	C+W 既設	普通合板厚5.5 既設のまま	0	LGS 既設	普通合板厚4 既設のまま	木製 既設	—	中扉(既設のまま)
		改修後	C+W 既設	(普通合板厚5.5)	0	(雑巾櫃)	C+W 既設	(普通合板厚5.5)	0	LGS 既設	(普通合板厚4)	(木製)	—	中扉
	更衣室	改修前	C+W 既設	複合フローリング厚12 既設のまま	350	雑巾櫃 既設	C+W 既設	ビニルクロス(上から)鋼 撤去 付長巻 既設のまま	0	LGS 既設	和風化粧合板 既設のまま	木製 撤去	2.650	卒業記念(取外し)
	休憩室	改修後	C+W 既設	(複合フローリング厚12)	350	(雑巾櫃)	C+W 既設	ビニルクロス 新設 MR塗替え(付長巻)	0	LGS 既設	(和風化粧合板)	MR塗替え (木製)	2.650	卒業記念(再取付)
	物入	改修前	C+W 既設	普通合板厚5.5 既設のまま	0	雑巾櫃 既設	C 既設	普通合板厚5.5 既設のまま	0	LGS 既設	普通合板厚4 既設のまま	木製 既設	—	中扉(既設のまま)
		改修後	C+W 既設	(普通合板厚5.5)	0	(雑巾櫃)	C 既設	(普通合板厚5.5)	0	LGS 既設	(普通合板厚4)	(木製)	—	中扉
	保健室	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去 小上り、基準SD 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設 LGS 既設	VE塗 既設のまま ビニルクロス 撤去 (GB-D厚12.5 既設のまま) 暖突壁 換気シロカ 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	窓下戸棚、流し台、戸棚、ユニットシンク、C面(既設のまま) 塗壁、指示板、巾着庫(取外し) 行李棚(撤去)
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 小上り、基準SD 新設	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設 LGS 既設	VE塗替え 小上り共 VE塗 新設 (GB-D厚12.5) 暖突壁 (換気シロカ)	0	(LGS)	EP-A塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3.000	窓下戸棚、流し台、戸棚、ユニットシンク、C面 塗壁、指示板、巾着庫(再取付)
	算数口	改修前	C+M 既設	植栽壁E100タイル 既設のまま 階段部、ビニル床タイル厚2.0 撤去、ノンスリップ塗物 撤去 スロープ部、ビニル床シート厚2.0(防凍) 撤去 SUS押入れ金物共	300	テラゾプロック厚20 既設 ソフト巾木H100 既設	C+M 既設	植栽壁材E 既設のまま	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま 軽量塗材(パーライト)吹付 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	カーテンレール、カーテン、撤去 下足入れ、さしごみすり、既設のまま スリコ、掃除具入れ、並立(取外し)
		改修後	C+M 既設	(植栽壁E100タイル) 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 ノンスリッ プ塗物 新設 カーテンレール厚2.0(防凍)新設 下地調整、SUS押入れ金物共	300	テラゾプロック厚20 ソフト巾木H100	C+M 既設	EP塗替え (植栽壁材E)	0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5) 石綿飛散防止材塗(固化工法) (軽量塗材(パーライト)吹付)	(塩ビ製)	2.640	下足入れ、さしごみすり スリコ、掃除具入れ、並立(再取付)
	算数口	改修前	C+M 既設	植栽壁E100タイル 既設のまま スロープ、ビニル床シート(防凍)撤去、さしごみ押入れ金物共	300	テラゾプロック厚20 ソフト巾木H100 既設	C+M 既設	植栽壁材E 既設のまま	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2.640	下足入れ(既設のまま) スリコ、並立、指示板(木製)取外し
		改修後	C+M 既設	(植栽壁E100タイル) カーテンレール厚2.0(防凍)新設 下地調整、SUS押入れ金物共	300	テラゾプロック厚20 ソフト巾木H100	C+M 既設	EP塗替え (植栽壁材E)	0	LGS 既設	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	2.640	下足入れ スリコ、並立、指示板(木製)再取付
	なのはな教室	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	EP塗 既設のまま、ビニルクロス 撤去 指示板用クロス 撤去、アルミ敷切、合板下地 既設のまま 暖突壁 換気シロカ 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	指示板、敷板(取外し)
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共	0	ソフト巾木H100 新設	C+M 既設	EP塗替え 指示板用クロス 新設 (アルミ敷切、合板下地) 暖突壁 (換気シロカ)	0	(LGS)	EP-A塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3.000	(指示板、敷板)再取付
	倉庫A	改修前	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	0	—	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	0	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	—	3.450	欄(既設のまま)
		改修後	C 既設	(M塗にて素地)	0	—	C 既設	(M塗にて素地)	0	C 既設	(M塗にて素地)	—	3.450	欄
	倉庫B	改修前	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	0	—	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	0	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	—	—	
	戸倉	改修後	C 既設	(M塗にて素地)	0	—	C 既設	(M塗にて素地)	0	C 既設	(M塗にて素地)	—	—	

内部仕上表 (改修前・後)

階数	室名	区分	床			巾木	壁			天井			天井高	備考
			下地	仕上	床高		下地	仕上	腰高	下地	仕上	廻縁		
1階	多目的トイレ	改修前	S.F. 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚)撤去 耐水合板厚12.0(兼)下地 既設のまま	0	A.L.C. 既設	磁器質100タイル M下地 既設のまま ライオンタイル 磁器質100タイル M+C厚100 撤去	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 撤去	塩ビ製 既設	2.650	面台厚30 撤去	
		改修後	S.F. 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚)新設 下地調整共(耐水合板面)	0	A.L.C. 既設	セラミック不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法 新設 撤去部 耐水合板厚12.0新設	0	L.G.S. 既設	移取目板厚9.0 W.P.差 GB-D厚9.5 新設	白塗し	2.650		
	男子トイレ	改修前	S.F. C+M 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚)撤去 耐水合板厚12.0(兼)下地 既設のまま 磁器質100タイル 既設のまま	50	A.L.C. 既設	磁器質100タイル M下地 既設のまま ライオンタイル 磁器質100タイル M+C厚100 既設のまま	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 撤去 梁型 EP差 M合にて 既設のまま	塩ビ製 既設	2.700	面台厚30、T.B. 天井高接口 撤去	
		改修後	S.F. C+M 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚)新設 下地調整共(耐水合板面) セラミック不燃化粧板厚3.0新設	0	A.L.C. 既設	セラミック不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法 新設 撤去部 耐水合板厚12.0新設	0	L.G.S. 既設	移取目板厚9.0 W.P.差 GB-D厚9.5 新設	白塗し	2.600	面台厚30、T.B. 天井高接口450(自地) 新設	
	女子トイレ	改修前	S.F. C+M 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚)撤去 耐水合板厚12.0(兼)下地 既設のまま 磁器質100タイル 既設のまま	60	A.L.C. 既設	磁器質100タイル M下地 既設のまま ライオンタイル 磁器質100タイル M+C厚100 既設のまま	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 撤去 梁型 EP差 M合にて 既設のまま	塩ビ製 既設	2.700	面台厚30、T.B. 天井高接口 撤去	
		改修後	S.F. C+M 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚)新設 下地調整共(耐水合板面) セラミック不燃化粧板厚3.0新設	0	A.L.C. 既設	セラミック不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法 新設 撤去部 耐水合板厚12.0新設	0	L.G.S. 既設	移取目板厚9.0 W.P.差 GB-D厚9.5 新設	白塗し	2.600	面台厚30、T.B. 天井高接口450(自地) 新設	
	職員トイレ1	改修前	C+M 既設	磁器質100タイル 既設のまま	50	C+M 既設	磁器質100タイル M下地 一部撤去	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 撤去	塩ビ製 既設	2.650	木製スチロール厚50、T.B. 撤去	
	職員更衣室1	改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設	0	C+M 既設	セラミック不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法 新設 一部GB-D厚12.0 新設	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 新設	塩ビ製 既設	2.650	ロッカー 再取付	
	職員トイレ2	改修前	C+M 既設	磁器質100タイル 既設のまま	60	C+M 既設	磁器質100タイル M下地 一部撤去	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 撤去	塩ビ製 既設	2.650	T.B. 撤去	
	職員更衣室2	改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設	0	C+M 既設	セラミック不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法 新設 一部GB-D厚12.0 新設	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 新設	塩ビ製 既設	2.650	ロッカー 再取付	
	E.V. 機械室	改修前	C 既設	M合にて素地 既設のまま	0	C 既設	GW吸音材厚100 既設のまま	0	0	ガラスクロス厚50 ビン挿入 既設のまま	0	0	0	0
		改修後	C	M合にて素地	0	C	GW吸音材厚100	0	0	ガラスクロス厚50 ビン挿入	0	0	0	0
2階	廊下	改修前	S.F. 既設	複合フローリング厚15 M合調整撤去 手洗機、ビニル床シート厚2.0(防汚) 撤去 押入金物共	0	C+M 既設	複層塗材E 既設のまま 耐震スリット部、スリット、GW20 撤去	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 既設のまま 梁型 複層塗材E差 既設のまま	塩ビ製 既設	1.620	卒業記念、掲示板、欄(木製)、掃除機入れ(廊下) 手洗機、天井高接口 既設のまま 撤去	
		改修後	S.F. 既設	セラミック不燃化粧板(複合フローリング厚15 手洗機、ビニル床シート厚2.0(防汚) 新設 下地調整共 押入金物共)	0	C+M 既設	EP塗替え(複層塗材E 一部W.P.差 移取目板厚9.0 新設 風切り板 耐震スリット部、スリット、GW20 新設)	0	L.G.S. 既設	EP差 新設 (GB-D厚9.5) 梁型 EP差替え (複層塗材E差)	(塩ビ製)	2.520	卒業記念、掲示板、欄(木製)、掃除機入れ(廊下) 手洗機、天井高接口 新設	
	E.V.ホール	改修前	C 既設	複合フローリング厚15 差調整撤去	0	A.L.C. 既設	複層塗材E GB-D厚12.0(自工法) 既設のまま	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2.520	E.V.P. 防煙垂壁 既設のまま	
		改修後	C	セラミック不燃化粧板(複合フローリング厚15)	0	A.L.C. 既設	EP塗替え(複層塗材E)	0	L.G.S. 既設	EP差 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	2.520	E.V.P. 防煙垂壁	
	階段室 A	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去 階段部、ビニル床タイル厚2.0 撤去 スリット金物 撤去	0	C+M 既設	複層塗材E 既設のまま	0	L.G.S. 既設	GB-D厚9.5 既設のまま 軽量塗材(パーライト)吹付 既設のまま	塩ビ製 既設	0	窓木、手すり、ロビー差 差調整撤去 掲示板(廊下)撤去	
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 スリット金物 新設	0	C+M 既設	EP塗替え(複層塗材E)	0	(L.G.S.)	EP差 新設 (GB-D厚9.5) 石綿飛散防止材塗(固化工法) 軽量塗材(パーライト)吹付)	(塩ビ製)	0	窓木、手すり、ロビー差 差調整撤去 掲示板(廊下)再取付	
	階段室 B	改修前	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去 階段部、ビニル床タイル厚2.0 撤去 スリット金物 撤去	0	C+M 既設	EP差 既設のまま	0	L.G.S. 既設	軽量塗材(パーライト)吹付 既設のまま	塩ビ製 既設	0	窓木、手すり、ロビー差 差調整撤去 窓鏡、卒業記念、掲示板(廊下)撤去	
		改修後	C+M 既設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 スリット金物 新設	0	C+M 既設	EP塗替え(複層塗材E)	0	(L.G.S.)	石綿飛散防止材塗(固化工法) 軽量塗材(パーライト)吹付)	(塩ビ製)	0	窓木、手すり、ロビー差 差調整撤去 窓鏡、卒業記念、掲示板(廊下)再取付	
	普通教室(1年)	改修前	W 既設	O.E塗 差調整撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	C+M 既設	EP差 既設のまま 掲示板用クロス 撤去 アルミ見切 合板下地 既設のまま 壁紙差 換通シツカ 既設のまま	0	L.G.S. 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 既設のまま 曲面裏板、行事裏板、掲示板、黒板(廊下)撤去 スリット差 撤去	
		改修後	W	O.E塗 差調整撤去 (フナフローリング厚15)	0	C+M 既設	EP塗替え 掲示板用クロス 新設 (アルミ見切 合板下地) 壁紙差 (換通シツカ)	0	(L.G.S.)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型: EP差 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3.000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 曲面裏板、行事裏板、掲示板、黒板(再取付)	
	普通教室(2年)	改修前	W 既設	O.E塗 差調整撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	C+M 既設	EP差 既設のまま 掲示板用クロス 撤去 アルミ見切 合板下地 既設のまま 壁紙差 換通シツカ 既設のまま	0	L.G.S. 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 既設のまま 曲面裏板、行事裏板、掲示板、黒板(廊下)撤去 スリット差 撤去	
		改修後	W	O.E塗 差調整撤去 (フナフローリング厚15)	0	C+M 既設	EP塗替え 掲示板用クロス 新設 (アルミ見切 合板下地) 壁紙差 (換通シツカ)	0	(L.G.S.)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型: EP差 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3.000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 曲面裏板、行事裏板、掲示板、黒板(再取付)	
普通教室(3年)	改修前	W 既設	O.E塗 差調整撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	C+M 既設	EP差 既設のまま 掲示板用クロス 撤去 アルミ見切 合板下地 既設のまま 壁紙差 換通シツカ 既設のまま	0	L.G.S. 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3.000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 既設のまま 曲面裏板、行事裏板、掲示板、黒板(廊下)撤去 スリット差 撤去		
	改修後	W	O.E塗 差調整撤去 (フナフローリング厚15)	0	C+M 既設	EP塗替え 掲示板用クロス 新設 (アルミ見切 合板下地) 壁紙差 (換通シツカ)	0	(L.G.S.)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型: EP差 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3.000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 曲面裏板、行事裏板、掲示板、黒板(再取付)		

内部仕上表 (改修前・後)

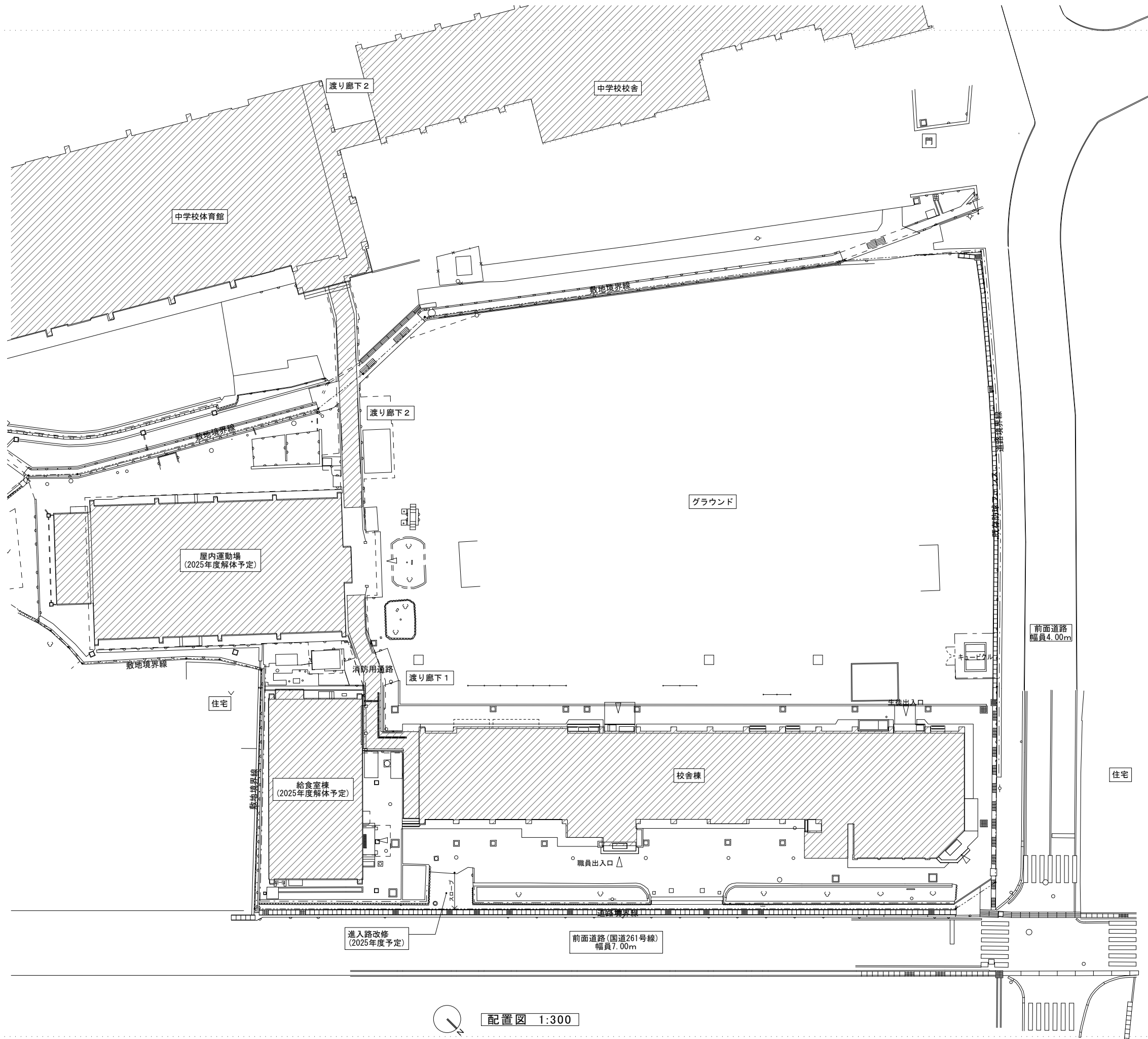
階数	室名	区分	床			巾木	壁			天井			天井高	備考
			下地	仕上	床高		下地	仕上	腰高	下地	仕上	廻縁		
2階	理科室	改修前	W 既設	ウレ塗 遮熱撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	SOP塗 桧H100 既設	C+M 既設	VE塗 既設のまま 新設スリット部 シーリングW20 撤去 遮熱壁 遮熱シート 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	T.V台 撤去 観音台、戸棚、C.B. 既設のまま 戸棚(木製)、掃除具入れ、実験台、上下黒板、指示板(取外し)
		改修後	W	OSBC塗替え (フナフローリング厚15)	0	SOP塗替え (桧H100)	C+M	VE塗替え 新設スリット部 シーリングW20 新設 遮熱壁 (遮熱シート)	0	(LGS)	EP-AB塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型: EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	観音台、戸棚、C.B. 戸棚(木製)、掃除具入れ、実験台、上下黒板、指示板(再取付)
	準備室(理)	改修前	M 既設	ウレ塗 遮熱撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	SOP塗 桧H100 既設	C+M 既設	EP塗 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	流し台、窓下戸棚、戸棚、カウチー、C.B. 実験台、棚(既設のまま)
		改修後	M	フナフローリング厚15	0	SOP塗 桧H100	C+M	EP塗	0	(LGS)	(DR厚9(直張工法)) 梁型: C素地	(塩ビ製)	3,000	流し台、窓下戸棚、戸棚、カウチー、C.B. 実験台、棚
	つくし教室	改修前	W 既設	ウレ塗 遮熱撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	SOP塗 桧H100 既設	C+M 既設	EP塗 既設のまま 指示板用クロス 撤去 アルミ見切 台板下地 既設のまま 遮熱壁 遮熱シート 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	手すり、戸棚、地図掛、C.B.、S.B. 既設のまま 曲面黒板(取外し)
		改修後	W	OSBC塗替え (フナフローリング厚15)	0	SOP塗替え (桧H100)	C+M	EP塗替え 指示板用クロス 新設 (アルミ見切 台板下地) 遮熱壁 (遮熱シート)	0	(LGS)	EP-AB塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型: EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	手すり、戸棚、地図掛、C.B.、S.B. 曲面黒板(再取付)
図書室	改修前	W 既設	ウレ塗 遮熱撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	SOP塗 桧H100 既設	C+M 既設	EP塗 既設のまま 遮熱壁 遮熱シート 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	手すり、書架、ライニング、C.B. 既設のまま 棚(取外し)	
	改修後	M	OSBC塗替え (フナフローリング厚15)	0	SOP塗替え (桧H100)	C+M	EP塗替え 遮熱壁 (遮熱シート)	0	(LGS)	EP-AB塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型: EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	手すり、書架、ライニング、C.B. 棚(再取付)	
廊下	改修前	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	0	-	C 既設	M塗にて素地 既設のまま	0	C	M塗にて素地 既設のまま	-	-	-	欄(既設のまま)
	改修後	C	M塗にて素地	0	-	C	M塗にて素地	0	C	M塗にて素地	-	-	-	欄
多目的トイレ	改修前	S.F 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚) 撤去 耐水合板厚12(二重) 下地 既設のまま 磁器タイル100サイズ 既設のまま	0	SUS床2H40 新設	A.L.C L.G.S 既設	磁器タイル100サイズ 下地 既設のまま ライニング壁 磁器タイル100サイズ M+C.B厚100 撤去	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 撤去	塩ビ製 撤去	2,650	面台厚30 撤去	
	改修後	S.F	ビニル床シート厚2.0(防汚) 新設 下地調整共(耐水合板面)	0	SUS床2H40 新設	A.L.C L.G.S 前新設	メラミン不燃化粧板厚3.0(タイル直貼り工法) 新設 ライニング壁、のり不燃化粧板厚3.0 耐水合板厚12 一部新設	0	LGS	杉羽目板厚9 W.P塗 GB-D厚9.5 新設	目隠し	2,650	面台厚30 撤去	
男子トイレ	改修前	S.F C+M 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚) 撤去 耐水合板厚12(二重) 下地 既設のまま 磁器タイル100サイズ 既設のまま	160	SUS床2H40 新設	A.L.C L.G.S 既設	磁器タイル100サイズ 下地 既設のまま ライニング壁 磁器タイル100サイズ M+C.B厚100 一部撤去	0	LGS 前撤去	GB-D厚9.5 撤去 梁型: EP塗 M塗にて 既設のまま	塩ビ製 撤去	1,620	面台厚30 T.B. 天井接続口 撤去	
	改修後	S.F C+M S.F新設	ビニル床シート厚2.0(防汚) 新設 下地調整共(耐水合板面) 耐水石版厚9 新設	0	SUS床2H40 新設	A.L.C L.G.S 前新設	メラミン不燃化粧板厚3.0(タイル直貼り工法) 新設 ライニング壁、のり不燃化粧板厚3.0 耐水合板厚12 一部新設	0	LGS 前新設	杉羽目板厚9 W.P塗 GB-D厚9.5 新設	目隠し	2,500	面台厚30 T.B. 天井接続口450(目地) S.W.手すり 新設	
女子トイレ	改修前	S.F C+M 既設	ビニル床シート厚2.0(防汚) 撤去 耐水合板厚12(二重) 下地 既設のまま 磁器タイル100サイズ 既設のまま	160	SUS床2H40 新設	A.L.C L.G.S 既設	磁器タイル100サイズ 下地 既設のまま ライニング壁 磁器タイル100サイズ M+C.B厚100 既設のまま	0	LGS 前撤去	GB-D厚9.5 撤去 梁型: EP塗 M塗にて 既設のまま	塩ビ製 撤去	2,520	面台厚30 T.B. 天井接続口 撤去	
	改修後	S.F C+M S.F新設	ビニル床シート厚2.0(防汚) 新設 下地調整共(耐水合板面)	0	SUS床2H40 新設	A.L.C L.G.S 前新設	メラミン不燃化粧板厚3.0(タイル直貼り工法) 新設 ライニング壁、のり不燃化粧板厚3.0 耐水合板厚12 一部新設	0	LGS 前新設	杉羽目板厚9 W.P塗 GB-D厚9.5 新設	目隠し	2,500	面台厚30 T.B. 天井接続口450(目地) S.W.手すり 新設	
3階	廊下	改修前	B.F 既設	複合フローリング厚15 ウレ塗撤去 手洗場、ビニル床シート厚2.0(防汚) 撤去 押入撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	複層塗材E 既設のまま 新設スリット部 シーリングW20 撤去	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	1,620	指示板、手洗場(既設のまま) 鏡板(撤去)
		改修後	S.F	OSBC塗替え (複合フローリング厚15) 手洗場、ビニル床シート厚2.0(防汚) 新設 下地調整共(合板下地) 押入撤去	0	ソフト巾木H100 新設	C+M	EP塗替え (複層塗材E) 一部WP塗 杉羽目板厚10 新設 見切共 新設スリット部 シーリングW20 新設	0	LGS	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	1,620	指示板、手洗場 鏡板(新設)
	E.Vホール	改修前	C 既設	複合フローリング厚15 遮熱撤去	0	ソフト巾木H100 撤去 キックガードH200 撤去	A.L.C 既設	複層塗材E GB-D厚12.0(L.G.S工法) 既設のまま	0	LGS 前撤去	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	1,520	E.V.P. J 防煙垂壁 既設のまま
		改修後	C	OSBC塗替え (複合フローリング厚15)	0	ソフト巾木H100 新設 キックガードH200 新設	A.L.C	EP塗替え (複層塗材E)	0	LGS 前新設	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	1,520	E.V.P. J 防煙垂壁
	階段室 A	改修前	C+M S.F 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去 階段部、ビニル床タイル厚2.0 撤去 スリッパ置物 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	複層塗材E 既設のまま	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2,520	窓下、手すり、ウレ塗、遮熱撤去 卒業記念、指示板、掃除具入れ取外し
		改修後	C+M S.F	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 スリッパ置物 新設	0	ソフト巾木H100 新設	C+M	EP塗替え (複層塗材E)	0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	2,520	窓下、手すり、ウレ塗、遮熱撤去 卒業記念、指示板、掃除具入れ再取付
階段室 B	改修前	C+M S.F 既設	ビニル床タイル厚2.0 撤去 階段部、ビニル床タイル厚2.0 撤去 スリッパ置物 撤去	0	ソフト巾木H100 撤去	C+M 既設	EP塗 既設のまま	0	LGS 既設	GB-D厚9.5 既設のまま	塩ビ製 既設	2,520	窓下、手すり、ウレ塗、遮熱撤去 卒業記念、取外し 天井接続口 撤去	
	改修後	C+M S.F	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 階段部、ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共 スリッパ置物 新設	0	ソフト巾木H100 新設	C+M	EP塗替え (複層塗材E)	0	(LGS)	EP塗 新設 (GB-D厚9.5)	(塩ビ製)	2,520	窓下、手すり、ウレ塗、遮熱撤去 卒業記念、再取付 天井接続口 新設	
普通教室(4年)	改修前	W 既設	ウレ塗 遮熱撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	SOP塗 桧H100 既設	C+M 既設	EP塗 既設のまま 指示板用クロス 撤去 アルミ見切 台板下地 既設のまま 遮熱壁 遮熱シート 既設のまま	0	LGS 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型: 吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 既設のまま スライディング黒板(撤去)	
	改修後	W	OSBC塗替え (フナフローリング厚15)	0	SOP塗替え (桧H100)	C+M	EP塗替え 指示板用クロス 新設 (アルミ見切 台板下地) 遮熱壁 (遮熱シート)	0	(LGS)	EP-AB塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型: EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B.、S.B. 曲面黒板、行書黒板、指示板、黒板、掃除具入れ再取付	

内部仕上表 (改修前・後)

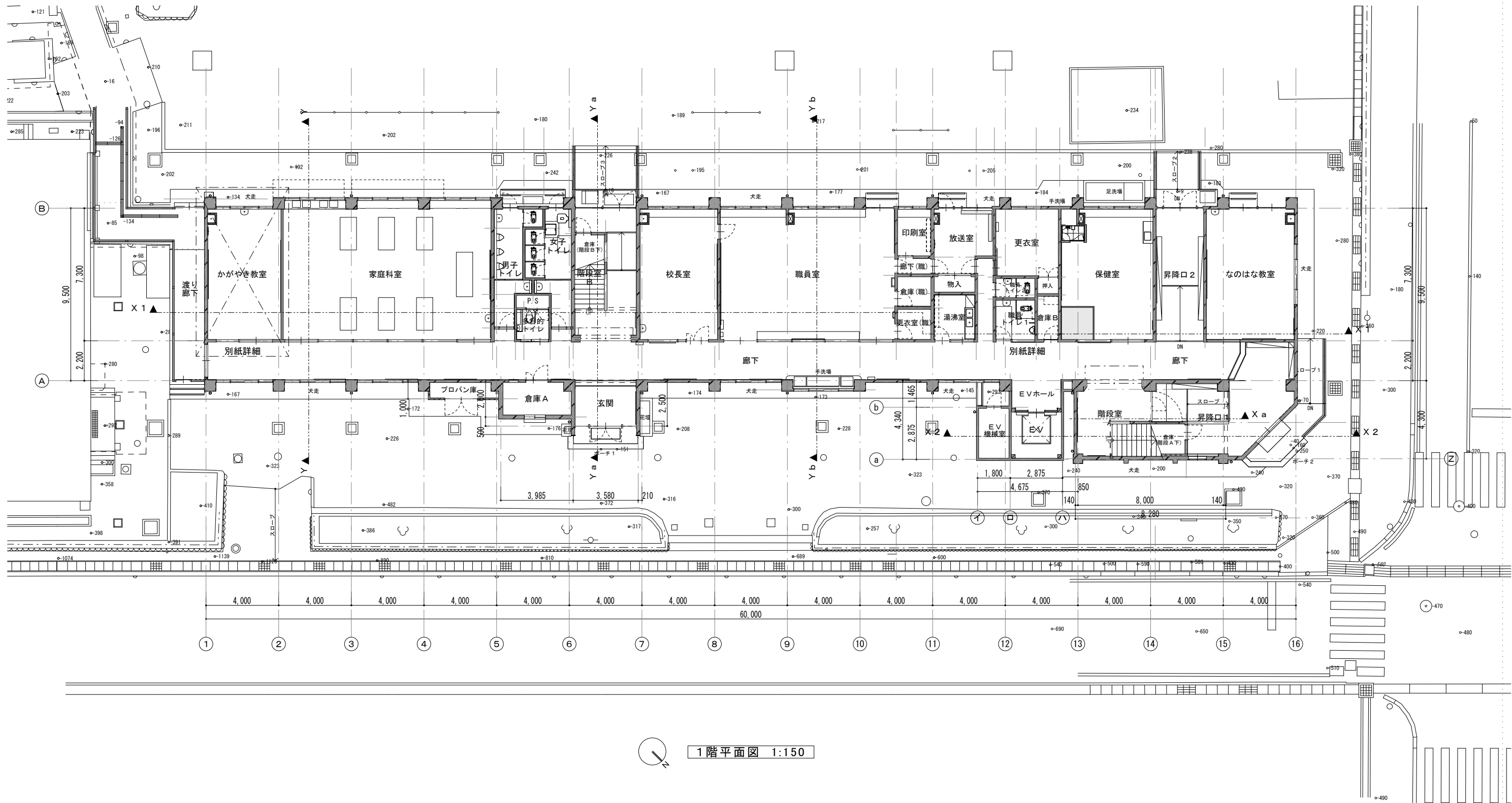
階数	室名	区分	床			巾木	壁			天井			天井高	備考
			下地	仕上	床高		下地	仕上	腰高	下地	仕上	廻縁		
3階	普通教室(5年)	改修前	W 既設	U.C.塗 塗膜撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	S.O.P.塗 桧H100 既設	C+M 既設	E.P.塗 既設のまま 指示板用クロス 撤去 アルミ見切 台板下地 既設のまま 壁突壁 焼通シタガ 既設のまま	0	L.G.S 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B、S.B)既設のまま 洗面床板、行事集板、指示板、黒板、掃除機入、取外し スライド扉板)撤去
		改修後	W	U.C.塗 塗膜撤去 (フナフローリング厚15)	0	S.O.P.塗替え (桧H100)	C+M	E.P.塗替え 指示板用クロス 新設 (アルミ見切 台板下地) 壁突壁 (焼通シタガ)	0	(L.G.S)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B、S.B)既設のまま 洗面床板、行事集板、指示板、黒板、掃除機入、再取付
	普通教室(6年)	改修前	W 既設	U.C.塗 塗膜撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	S.O.P.塗 桧H100 既設	C+M 既設	E.P.塗 既設のまま 指示板用クロス 撤去 アルミ見切 台板下地 既設のまま 壁突壁 焼通シタガ 既設のまま	0	L.G.S 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B、S.B)既設のまま 洗面床板、行事集板、指示板、黒板、掃除機入、取外し スライド扉板)撤去
		改修後	W	U.C.塗 塗膜撤去 (フナフローリング厚15)	0	S.O.P.塗替え (桧H100)	C+M	E.P.塗替え 指示板用クロス 新設 (アルミ見切 台板下地) 壁突壁 (焼通シタガ)	0	(L.G.S)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	手すり、戸棚、ロッカー、地図掛、C.B、S.B)既設のまま 洗面床板、行事集板、指示板、黒板、掃除機入、再取付
	資料室	改修前	W 既設	U.C.塗 塗膜撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	S.O.P.塗 桧H100 既設	C+M 既設	E.P.塗 既設のまま	0	L.G.S 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	棚、戸棚、C.B、手すり)既設のまま
		改修後	W	フナフローリング厚10)	0	S.O.P.塗 桧H100)	C+M	E.P.塗)	0	(L.G.S)	(DR厚9(直張工法)) 梁型:C素地	(塩ビ製)	3,000	棚、戸棚、C.B、手すり)
	図工室	改修前	W 既設	U.C.塗 塗膜撤去 フナフローリング厚15 既設のまま ビニル床シート厚2.5(防湿) 撤去 押え金物共	0	S.O.P.塗 桧H100 既設	C+M 既設	U.E.塗 既設のまま 壁突壁 焼通シタガ 既設のまま	0	L.G.S 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	戸棚、工具棚)取外し 手すり、戸棚、工作台、流し台、C.B)既設のまま スライド扉板)取外し
		改修後	W	U.C.塗 塗膜撤去 (フナフローリング厚15) ビニル床シート厚2.5(防湿) 新設 下地調整、押え金物共	0	S.O.P.塗替え (桧H100)	C+M	U.E.塗替え 壁突壁 (焼通シタガ)	0	(L.G.S)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	戸棚、工具棚)再取付 手すり、戸棚、工作台、流し台、C.B) スライド扉板)再取付
	準備室(図)	改修前	W 既設	U.C.塗 塗膜撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	S.O.P.塗 桧H100 既設	C+M 既設	E.P.塗 既設のまま 壁突壁 焼通シタガ 既設のまま	0	L.G.S 既設	DR厚9(直張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	定規掛、指示収納、流し台、戸棚、C.B)既設のまま
		改修後	W	フナフローリング厚10)	0	S.O.P.塗替え (桧H100)	C+M	E.P.塗替え 壁突壁 (焼通シタガ)	0	(L.G.S)	EP-A.B塗 新設 (DR厚9(直張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000	定規掛、指示収納、流し台、戸棚、C.B)
	音楽室	改修前	W 既設	U.C.塗 塗膜撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	S.O.P.塗 桧H100 既設	C+M 既設	S.O.P.塗、有孔、木合板 既設のまま E.P.塗 壁突壁 焼通シタガ 既設のまま W.P.塗 格子25×800? 既設のまま	0	L.G.S 既設	DR厚12(GB-R厚9.5捨て張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000~ 3,200	手すり、C.B、既設のまま スライド扉板)取外し
		改修後	W	U.C.塗 塗膜撤去 (フナフローリング厚15)	0	S.O.P.塗替え (桧H100)	C+M	S.O.P.塗替え、有孔、木合板 E.P.塗替え、壁突壁 (焼通シタガ) W.P.塗替え (格子25×800?)	0	(L.G.S)	EP-A.B塗 新設 (DR厚12(GB-R厚9.5捨て張工法)) 梁型:EP塗 新設 (C面) (別途工事)	(塩ビ製)	3,000~ 3,200	手すり、C.B) スライド扉板)再取付
準備室(音)	改修前	W 既設	U.C.塗 塗膜撤去 フナフローリング厚15 既設のまま	0	S.O.P.塗 桧H100 既設	C+M 既設	E.P.塗 既設のまま 壁突壁 焼通シタガ 既設のまま	0	L.G.S 既設	DR厚12(GB-R厚9.5捨て張工法) 既設のまま 梁型:吸音材厚9吹付 撤去	塩ビ製 既設	3,000	棚(木製)、戸棚、手すり、C.B)既設のまま	
	改修後	W	U.C.塗 塗膜撤去 (フナフローリング厚15)	0	S.O.P.塗 桧H100)	C+M	E.P.塗 壁突壁 (焼通シタガ)	0	(L.G.S)	(DR厚12(GB-R厚9.5捨て張工法)) 梁型:C素地	(塩ビ製)	3,000	棚(木製)、戸棚、手すり、C.B)	
書庫	改修前	C 既設	M金こて素地 既設のまま	0	-	E 既設	M金こて素地 既設のまま	0	C	M金こて素地 既設のまま	-	-	棚)既設のまま	
	改修後	C	M金こて素地)	0	-	C	M金こて素地)	0	C	M金こて素地)	-	-	棚)	
多目的トイレ	改修前	S.F 既設	ビニル床シート厚2.5(防湿) 撤去 排水台板厚12(2重)下地 既設のまま	0	-	A.L.C L.G.S 既設	磁器質口100タイル、M下地 既設のまま ライニング壁、磁器質口100タイル、M+CB厚100 撤去	0	L.G.S 既設	GB-R厚9.5 撤去	塩ビ製 撤去	2,630	(面台厚30)撤去	
	改修後	S.F 既設	ビニル床シート厚2.5(防湿) 新設 下地調整共(排水台板面)	0	S.U.B.厚2H40 新設	A.L.C L.G.S 既設	メラミン不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法、新設 ライニング壁、15.5不燃化粧板厚3.0、排水台板厚12 一部新設	0	L.G.S 既設	杉目板厚9、W.P.塗、GB-R厚9.5 新設	目造し	2,630	面台厚30)	
男子トイレ	改修前	S.F C+M 既設	ビニル床シート厚2.5(防湿) 撤去、S.U.S.板W50 一部撤去 排水台板厚12(2重)下地 既設のまま 磁器質口100タイル 既設のまま	160	-	A.L.C L.G.S 既設	磁器質口100タイル、M下地 既設のまま ライニング壁、磁器質口100タイル、M+CB厚100 一部撤去	0	L.G.S 既設	GB-R厚9.5 撤去	塩ビ製 撤去	2,550	面台厚30、T.B、天井吊線口)撤去	
	改修後	S.F C+M S.F新設	ビニル床シート厚2.5(防湿) 新設 下地調整共(排水台板面) 均整石厚6.0 新設	160	S.U.S.厚2H40 新設	A.L.C L.G.S 既設	メラミン不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法、新設 ライニング壁、15.5不燃化粧板厚3.0、排水台板厚12 一部新設	0	L.G.S 既設	杉目板厚9、W.P.塗、GB-R厚9.5 新設	目造し	2,570	面台厚30、T.B、天井吊線口)撤去(目地)、S.U.S.手すり)新設	
女子トイレ	改修前	S.F C+M 既設	ビニル床シート厚2.5(防湿) 撤去、S.U.S.板W50 一部撤去 排水台板厚12(2重)下地 既設のまま 磁器質口100タイル 既設のまま	160	-	A.L.C L.G.S 既設	磁器質口100タイル、M下地 既設のまま ライニング壁、磁器質口100タイル、M+CB厚100 既設のまま	0	L.G.S 既設	GB-R厚9.5 撤去	塩ビ製 撤去	2,550	面台厚30、T.B、天井吊線口)撤去	
	改修後	S.F C+M S.F新設	ビニル床シート厚2.5(防湿) 新設 下地調整共(排水台板面)	160	S.U.S.厚2H40 新設	A.L.C L.G.S 既設	メラミン不燃化粧板厚3.0タイル直貼り工法、新設 ライニング壁、15.5不燃化粧板厚3.0、排水台板厚12 一部新設	0	L.G.S 既設	杉目板厚9、W.P.塗、GB-R厚9.5 新設	目造し	2,570	面台厚30、T.B、天井吊線口)撤去(目地)、S.U.S.手すり)新設	



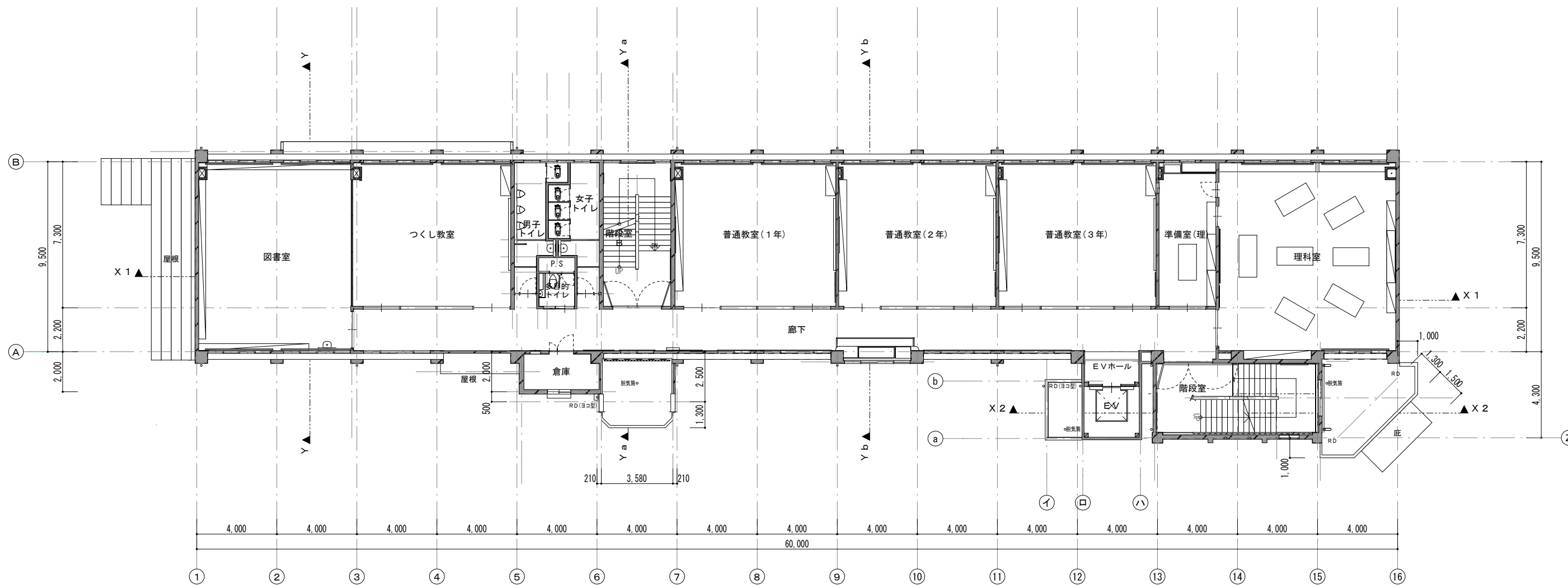
付近見取図



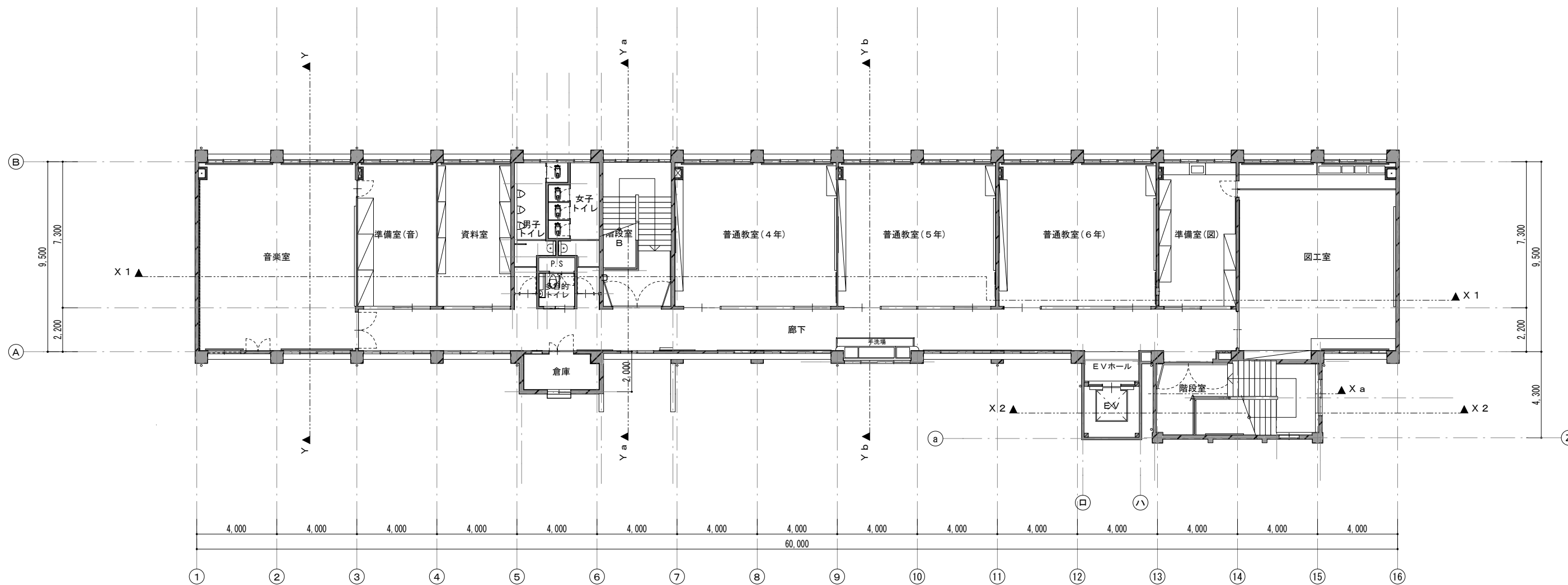
配置図 1:300



1階平面図 1:150



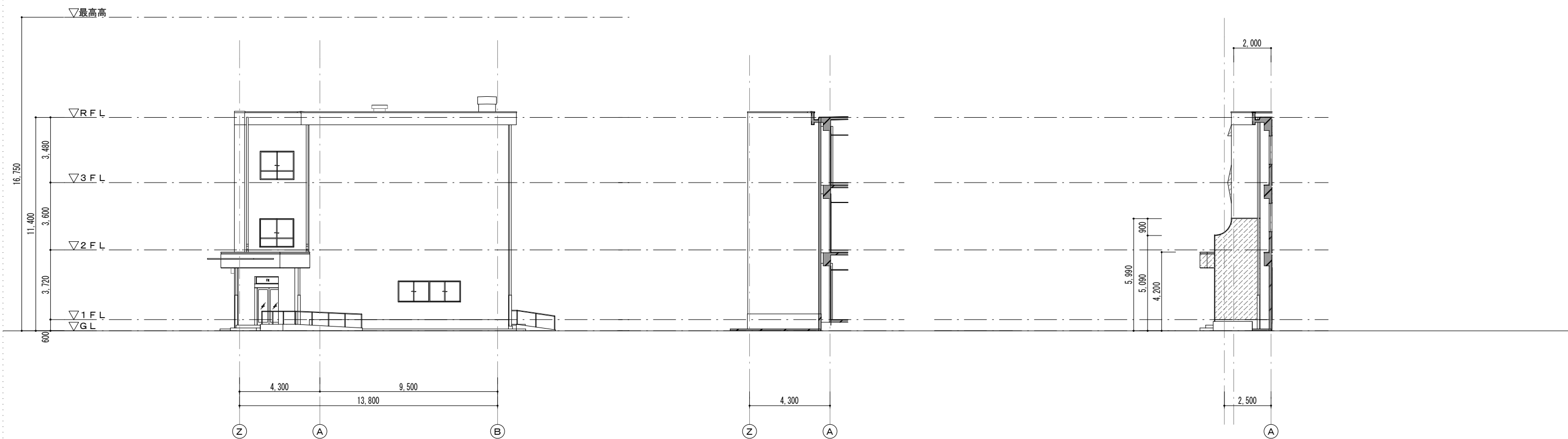
2階平面図 1:150



3階平面図 1:150



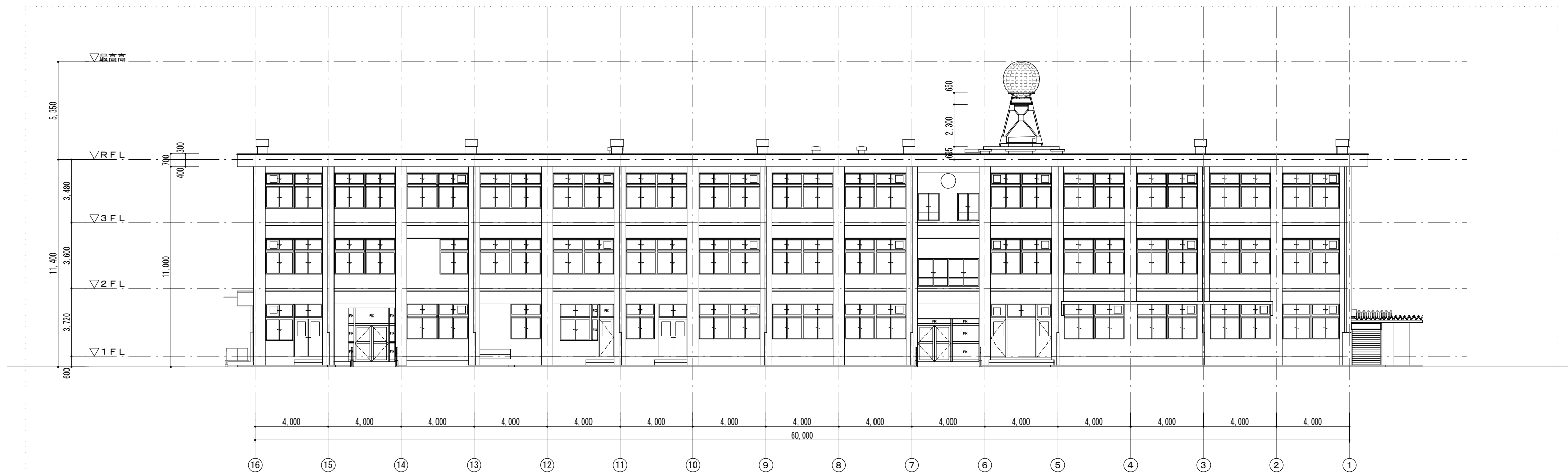
北側立面図 1:150



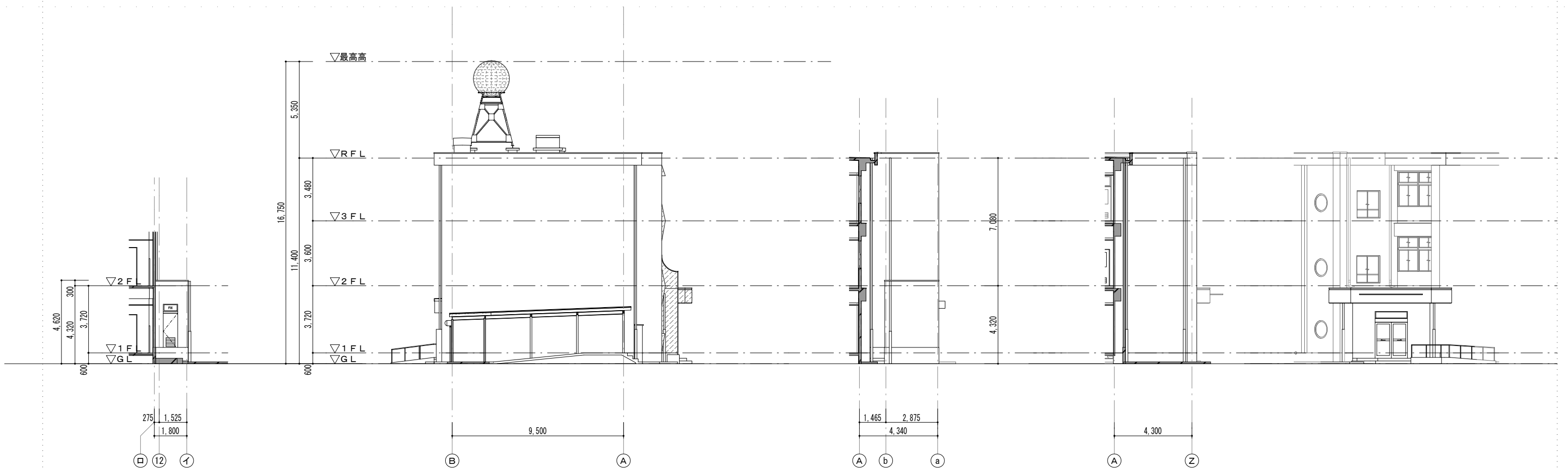
西側立面図1 1:150

西側立面図2 1:150

西側立面図3 1:150



南側立面图 1 1:150



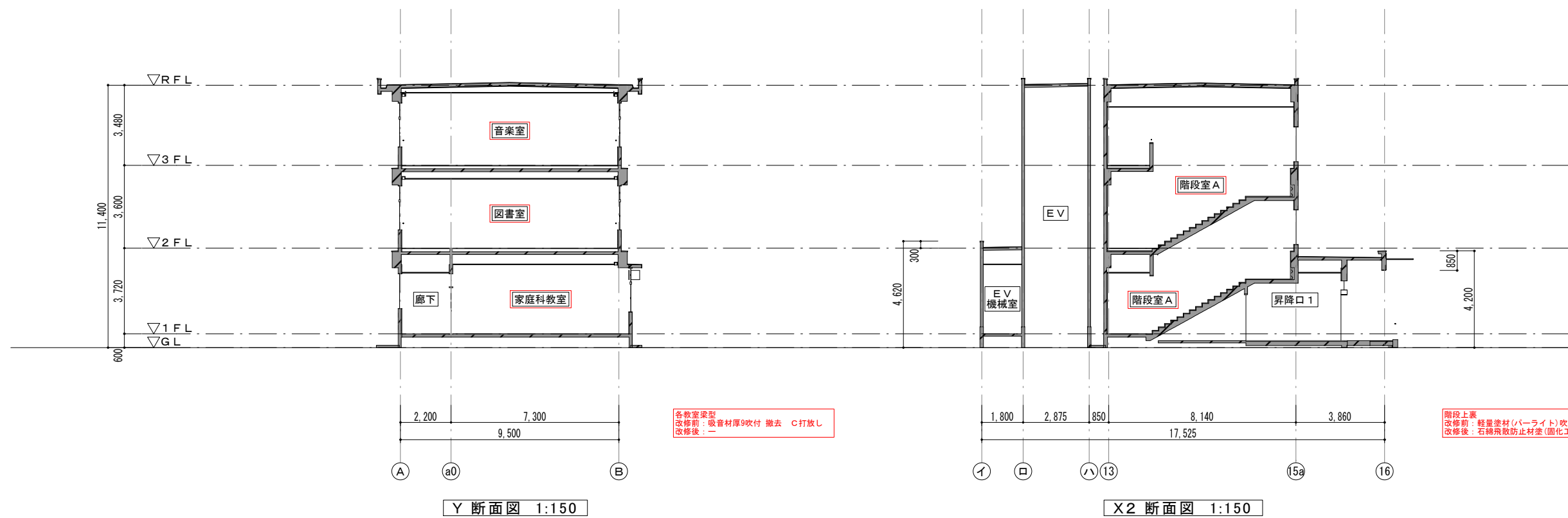
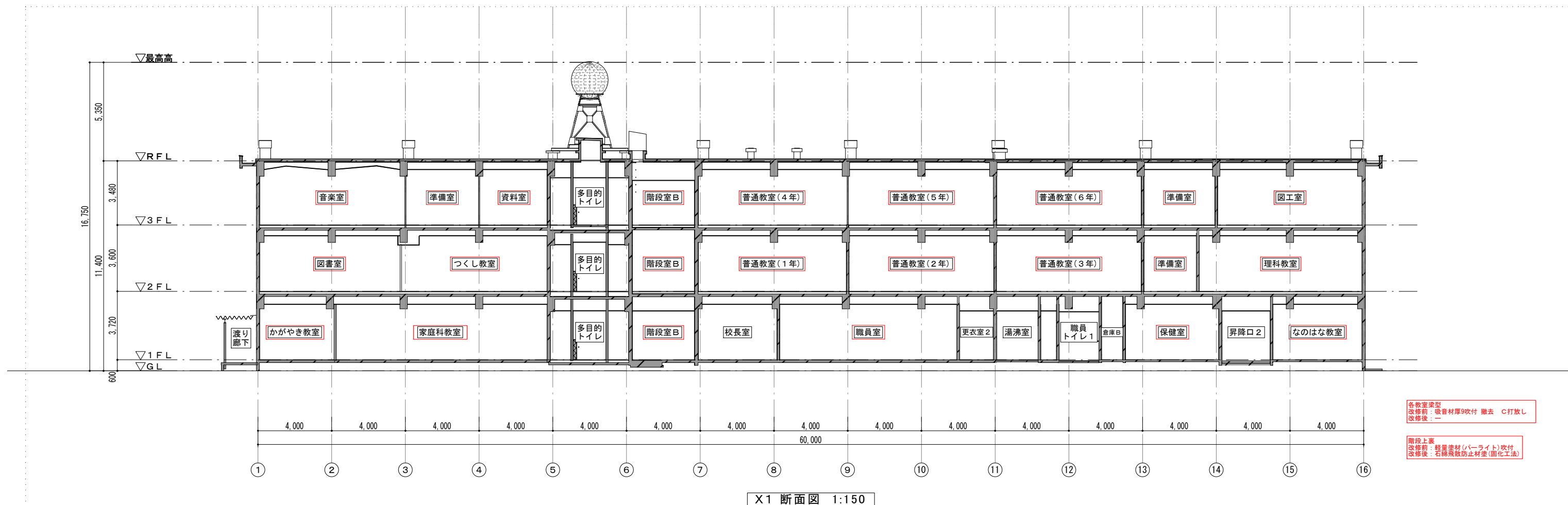
南側立面图 2 1:150

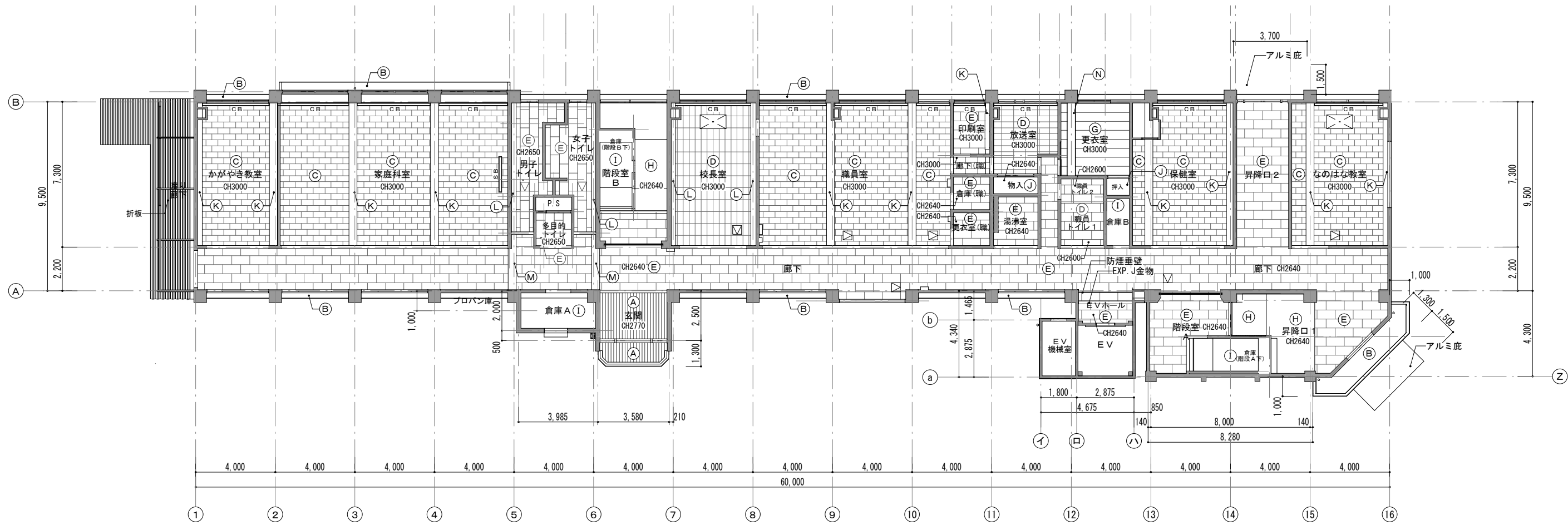
東側立面图 1 1:150

東側立面图 2 1:150

東側立面图 3 1:150

北西側立面图 1:150

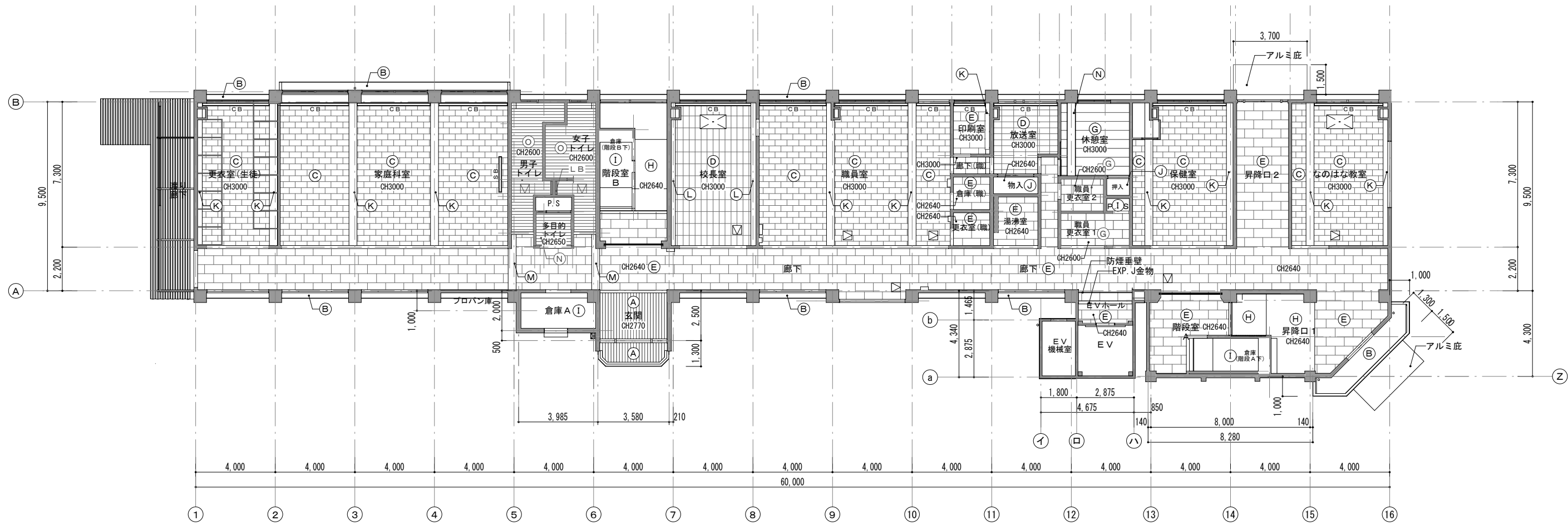




1階天井伏図(改修前) 1:150

凡例(改修前) CHは階F.L.からの距離を示す。

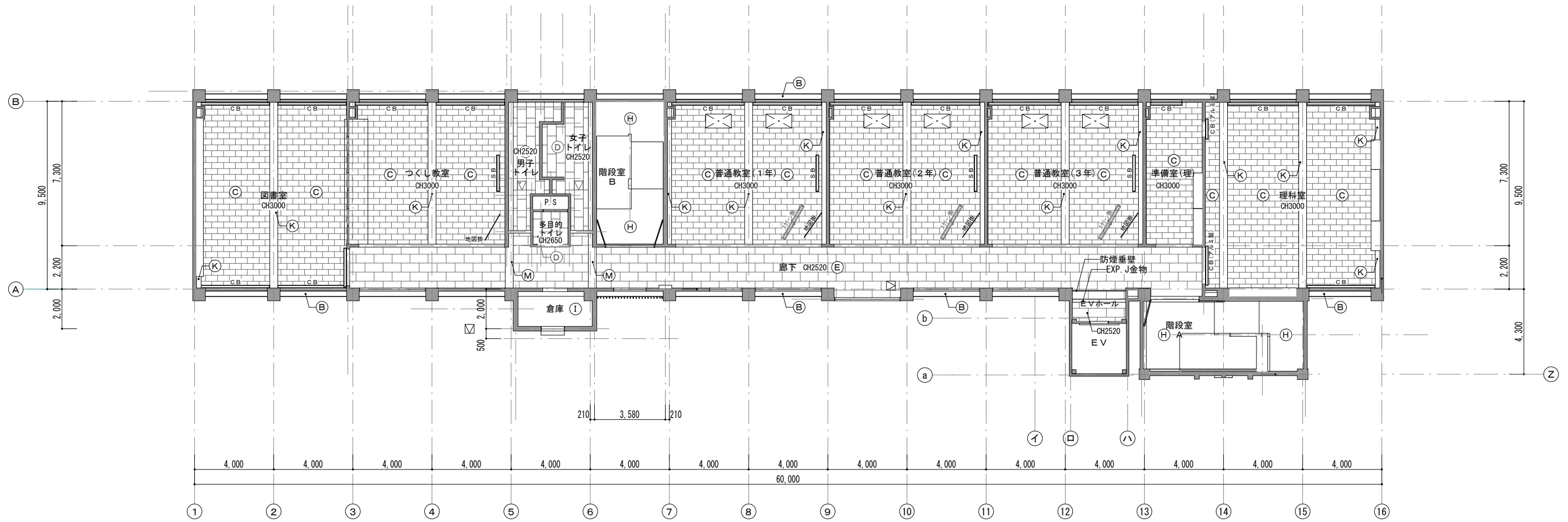
(A)	樹脂化鉛鋼板スチンドレル 塗膜除去	(L)	E.P.塗
(B)	珪藻土系C吹付し 高圧水洗浄	(M)	横断塗材E
(C)	D吹付し 直張工法	(N)	ビニルクロス
(D)	D吹付し(リペア) 600×600吹付工法	(O)	亜鉛亜内蔵(天吊型) 鏡面の手摺
(E)	600×600吹付	(P)	天井点検口
(F)	D吹付し(リペア) 600×600吹付工法	(Q)	カーテンホック等 さらけ塗装
(G)	樹脂化粧合板	(R)	カーテンレール 取付し
(H)	軽量塗材(バーライト)吹付 C吹付し	(S)	スチールホック
(I)	M塗付 剥離		
(J)	普通合板		
(K)	吸音材厚9吹付 撤去 C吹付し		



1階天井伏図(改修後) 1:150

凡例(改修後) CHは階F.L.からの距離を示す。

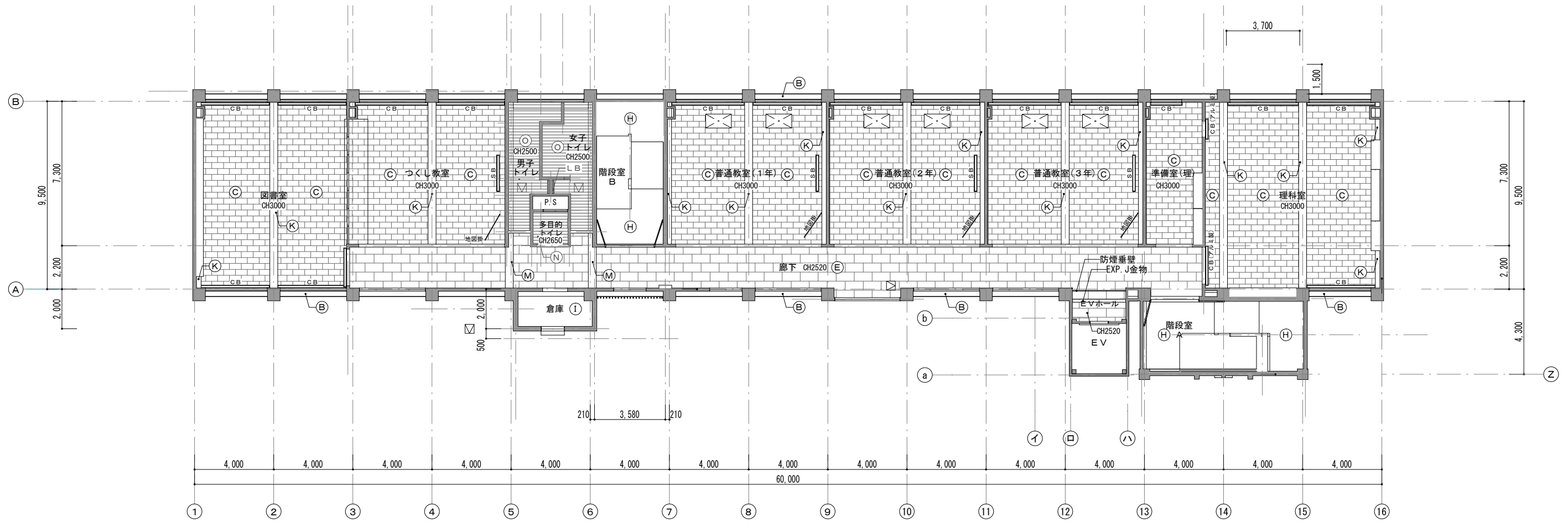
(A)	D.P.V.1層: 遮熱系(化粧鋼板)	(L)	E.P.遮熱系
(B)	遮熱鋼板(1.5mm厚) 遮熱系	(M)	E.P.遮熱系
(C)	E.P. A面: D.P.面	(N)	ビニルクロス
(D)	E.P. A面: D.P.面	(O)	W.P.2層: 杉羽目板
(E)	E.P. B面: D.P.面	(P)	遮熱系内蔵(天吊型) 電線の手掛
(F)	E.P. A面: D.P.面	(Q)	天井点検口
(G)	和風北組合板	(R)	カーテンボックス: 500P遮熱系
(H)	石綿飛散防止材塗(固化工法)(H-1a1面)	(S)	カーテンボックス: 再取付
(I)	鋼金: 2層	(T)	カーテンボックス: 500P遮熱系
(J)	普通合板	(U)	カーテンボックス: 500P遮熱系
(K)	E.P. A面: 新設(C面)	(V)	ライトボックス: 新設



2階天井伏図(改修前) 1:150

凡例(改修前) CHは階F.L.からの距離を示す。

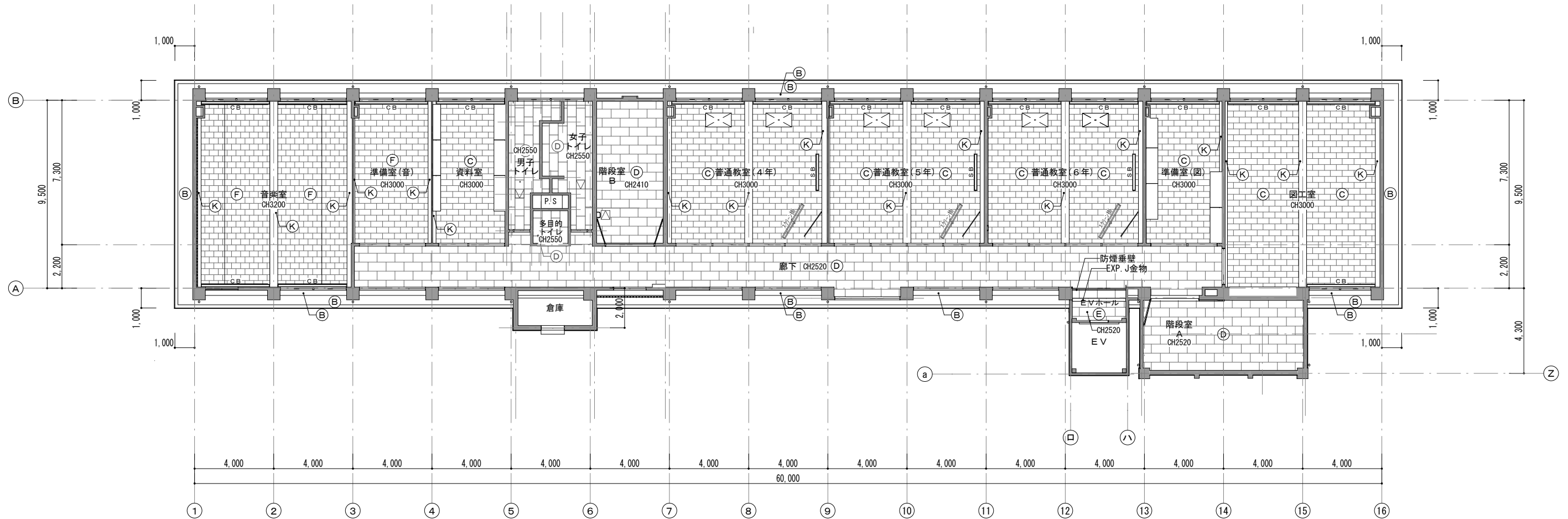
(A)	樹脂化鉛鋼板スパンドレル 塗膜除去	(I)	EP塗
(B)	珪藻土吹付 C打放し 高圧水洗浄	(II)	横断材付E
(C)	D付厚9吹付工法	(IV)	ビニルクロス
(D)	D付厚12吹付(600)付厚9吹付工法		
(E)	600付厚9吹付		
(F)	D付厚12吹付(600)付厚9吹付工法	(VI)	亜鉛亜内蔵(天吊型) 鏡面の手摺
(G)	樹脂化粧合板	(VII)	天井点検口
(H)	軽量塗材(パーライト)吹付 C打放し	(VIII)	カーテンホック付 500P塗替え
(I)	M塗付 珪藻土吹付	(IX)	カーテンレール 取付し
(J)	普通合板厚9	(X)	スナリール 取付し
(K)	吸音材厚9吹付 撤去 C打放し		



2階天井伏図(改修後) 1:150

凡例(改修後) CHは階F.L.からの距離を示す。

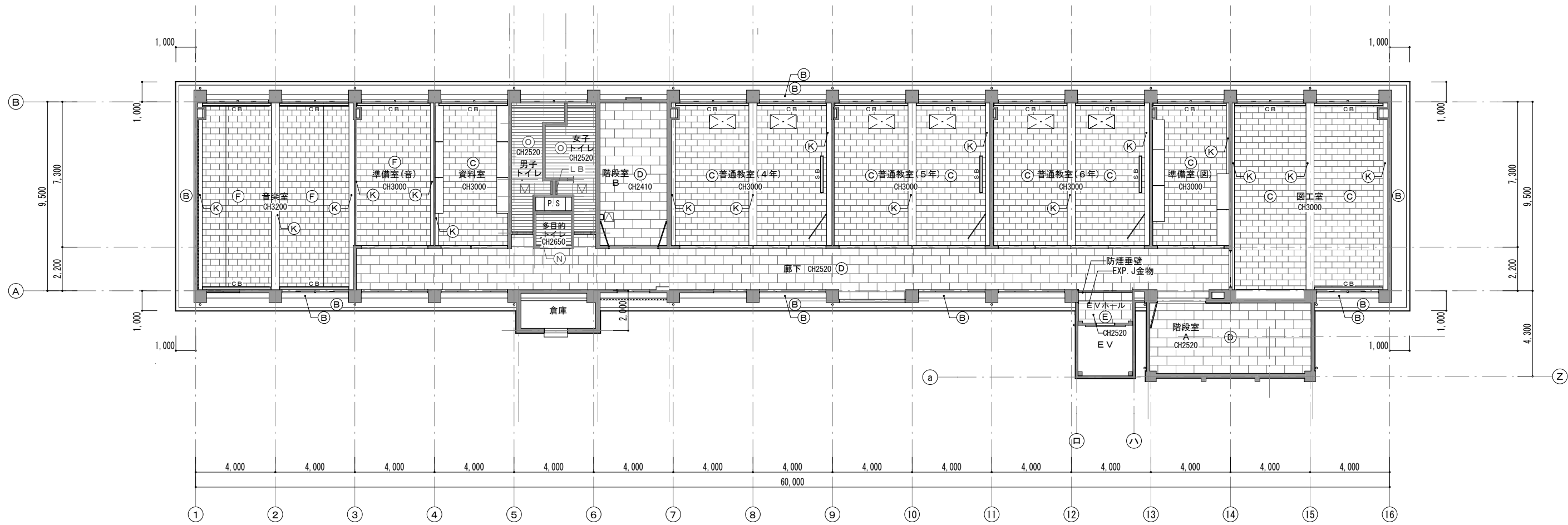
(A)	D.P.V.線・巻線式・化粧鋼板面	(L)	E.P.巻線式
(B)	巻線鋼板・R.F.F.巻き式・巻線式	(M)	E.P.巻線式
(C)	E.P.-A巻線・D.P.面	(N)	ビニルクロス
(D)	E.P.-A巻線・D.P.面	(O)	W.P.巻線・杉羽目板面
(E)	E.P.巻線・D.P.面	(P)	巻線室内機(天吊型)・巻線のホコリ
(F)	E.P.-A巻線・D.P.面	(Q)	天井点検口
(G)	和風化粧合板	(R)	カーテンボックス・巻線巻線式
(H)	石綿飛散防止材塗(固化工法)(H-ラ付面)	(S)	カーテンボックス・巻線巻線式
(I)	鋼金・巻線	(T)	巻線巻線式・巻線巻線式
(J)	巻線巻線式	(U)	巻線巻線式・巻線巻線式
(K)	E.P.巻線(巻線)	(V)	ライトボックス・巻線



3階天井伏図(改修前) 1:150

凡例(改修前) CHは階F.L.からの距離を示す。

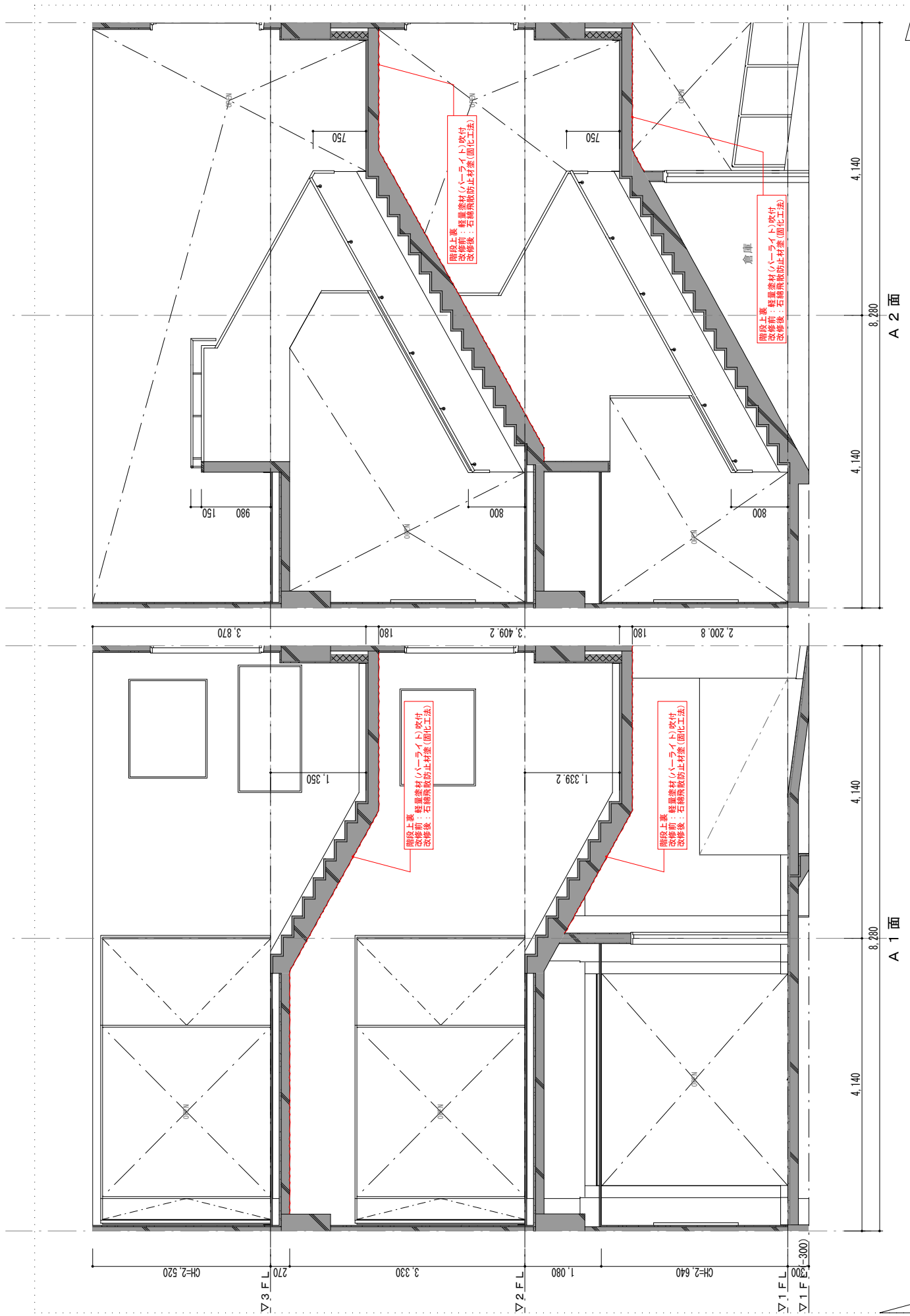
(A)	樹脂化鉛鋼板スチンドレル 塗膜除去	(I)	EP塗
(B)	珪藻土吹付 C打放し 高圧水洗浄	(J)	珪藻土吹付
(C)	D吹付(直張工法)	(K)	ビニルクロス
(D)	D吹付(リフト材) G吹付(捲き上げ工法)		
(E)	G吹付(捲き上げ)		
(F)	D吹付(リフト材) G吹付(捲き上げ工法)	(L)	亜鉛亜鉛内蔵(無鉛型) 鏡面のホコリ
(G)	樹脂化鉛鋼板	(M)	天井点検口
(H)	軽量塗材(パーライト)吹付 C打放し	(N)	カーテンホック等 吊り戸袋懸架
(I)	珪藻土吹付	(O)	カーテンレール 取付し
(J)	普通合板	(P)	スチール吊り钩
(K)	吸音材厚9吹付 撤去 C打放し		



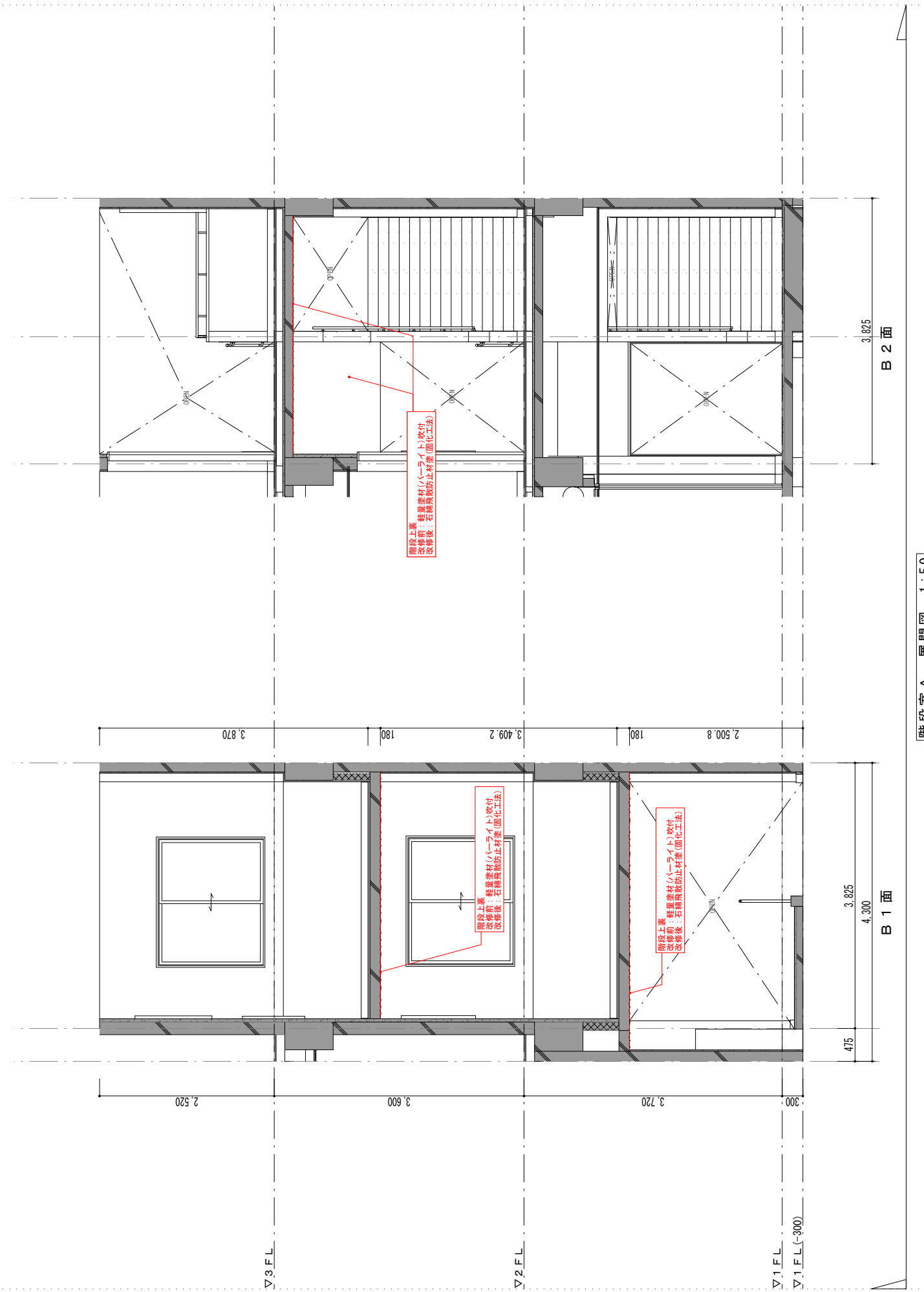
3階天井伏図(改修後) 1:150

凡例(改修後) CHは階F.L.からの距離を示す。

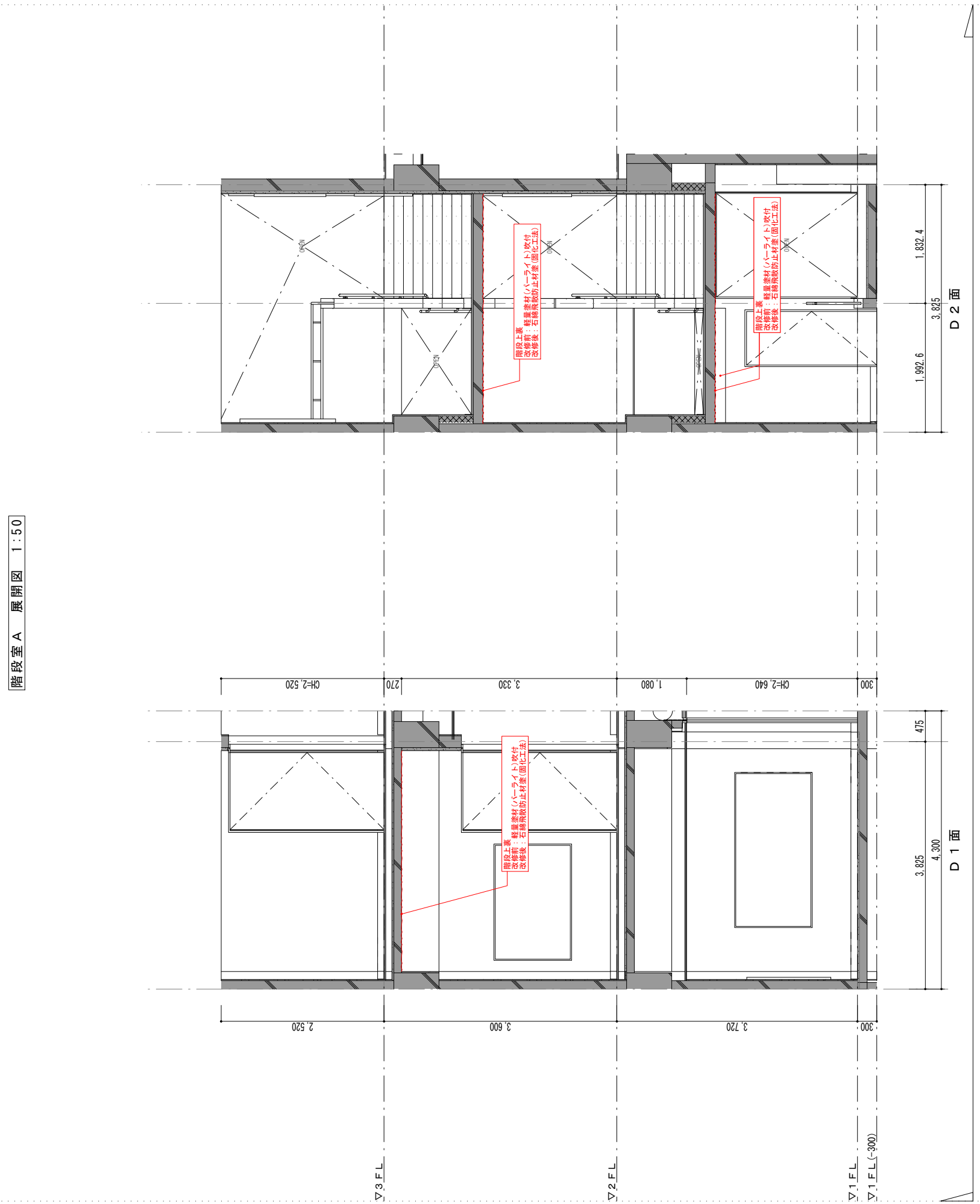
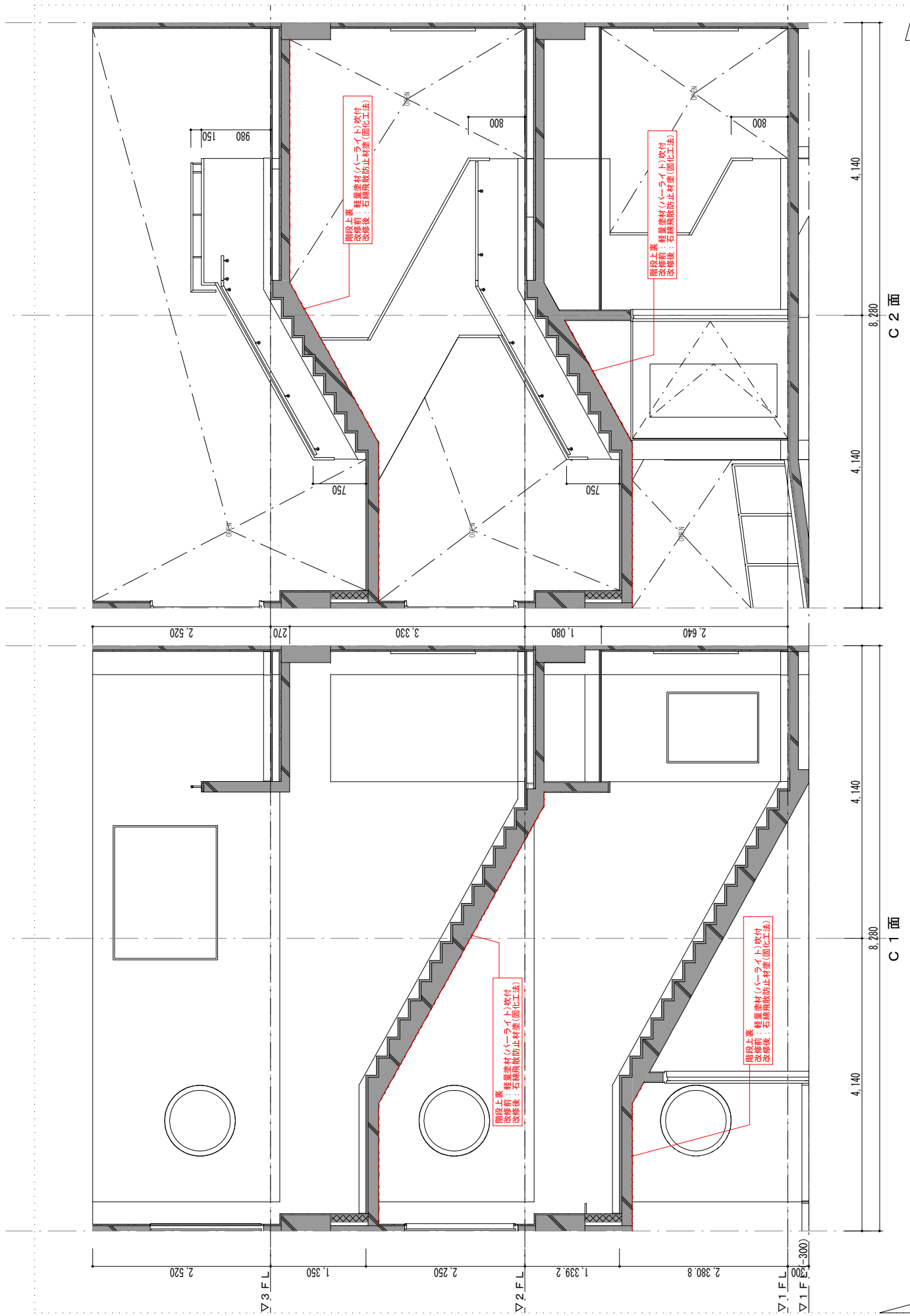
(A)	D 0.5mm 鋼線網(化粧鋼線網)	(L)	E.P.遮音板
(B)	遮音断熱材料(グラスウール) 巻替え	(M)	E.P.遮音板
(C)	E.P. A 0.5mm D 0.5mm	(N)	ビニルクロス
(D)	E.P. A 0.5mm D 0.5mm	(O)	W.P. 2層 杉羽目板(壁)
(E)	E.P. 巻替え D 0.5mm	(P)	壁面内蔵(天吊型) 電線の手掛
(F)	E.P. A 0.5mm D 0.5mm	(Q)	天井点検口
(G)	和風化粧合板	(R)	カーテンボックス(壁面) 巻替え
(H)	石綿飛散防止材塗(固化工法)(ハ-ラ付面)	(S)	カーテンボックス(天井) 巻替え
(I)	鋼金網(巻替)	(T)	スチール製ボックス(壁面) 巻替え
(J)	普通合板(巻替)	(U)	ライトボックス(巻替)
(K)	E.P. 巻替え(C面)		

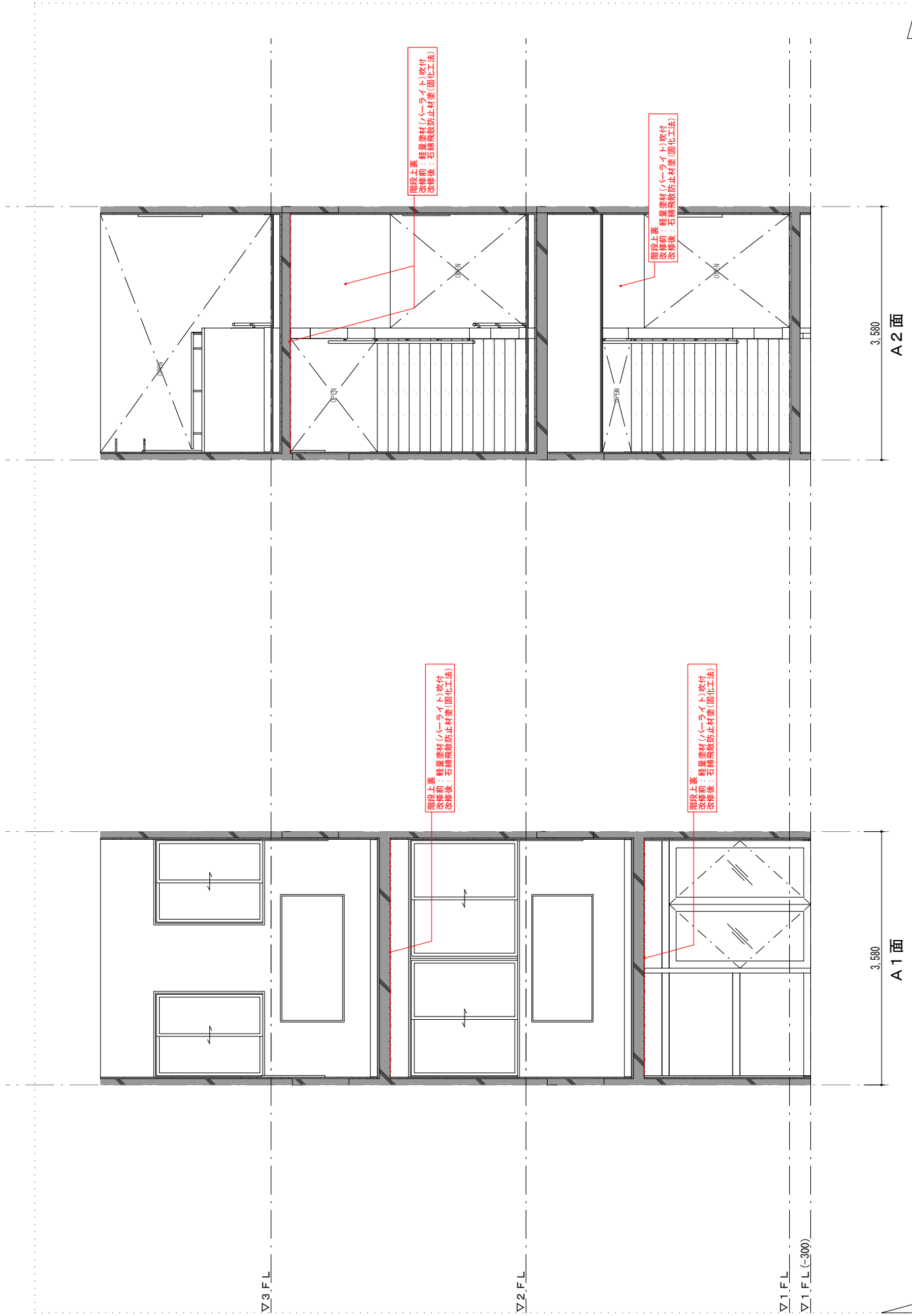


階段室A 展開図 1:50

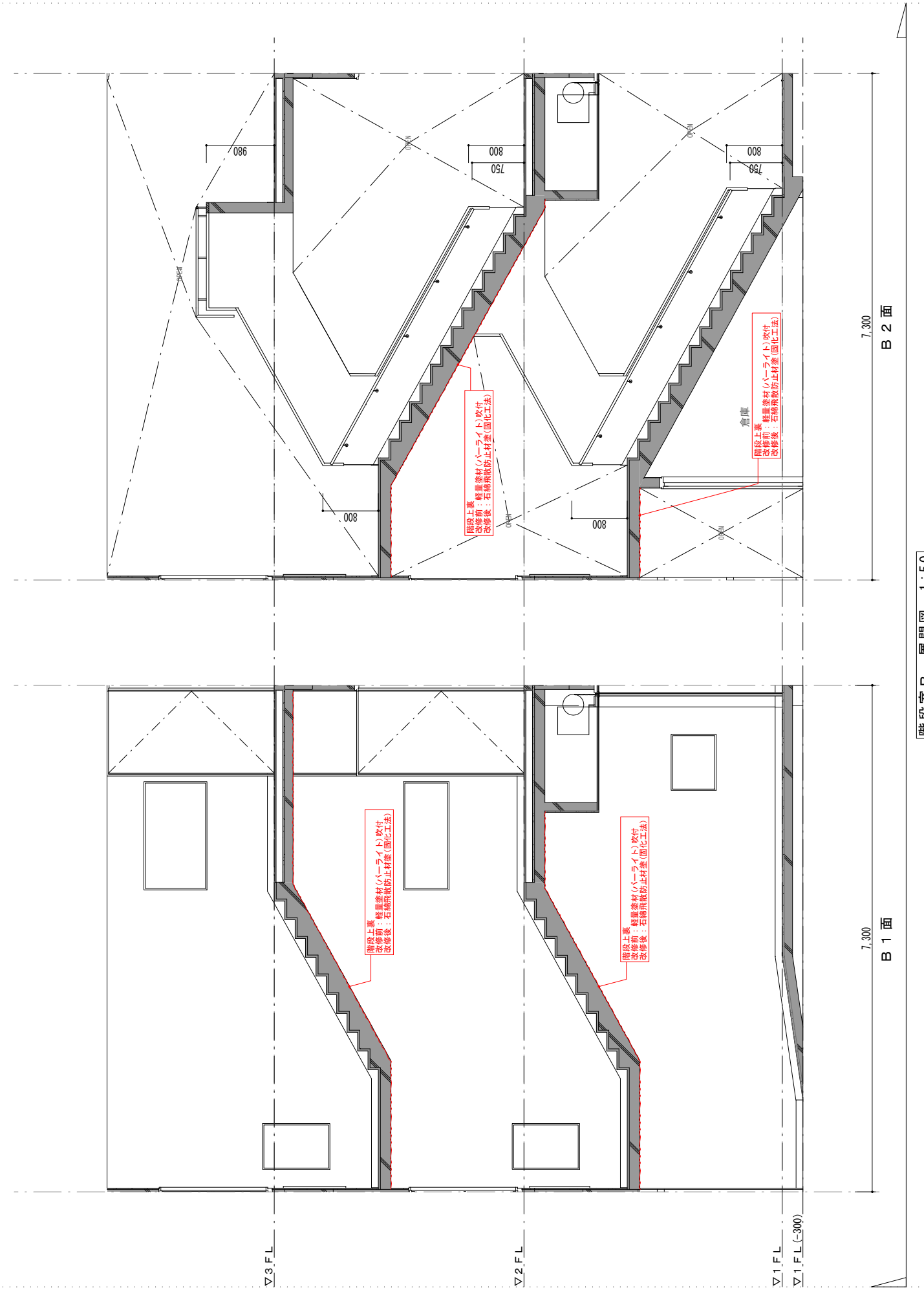


階段室A 展開図 1:50

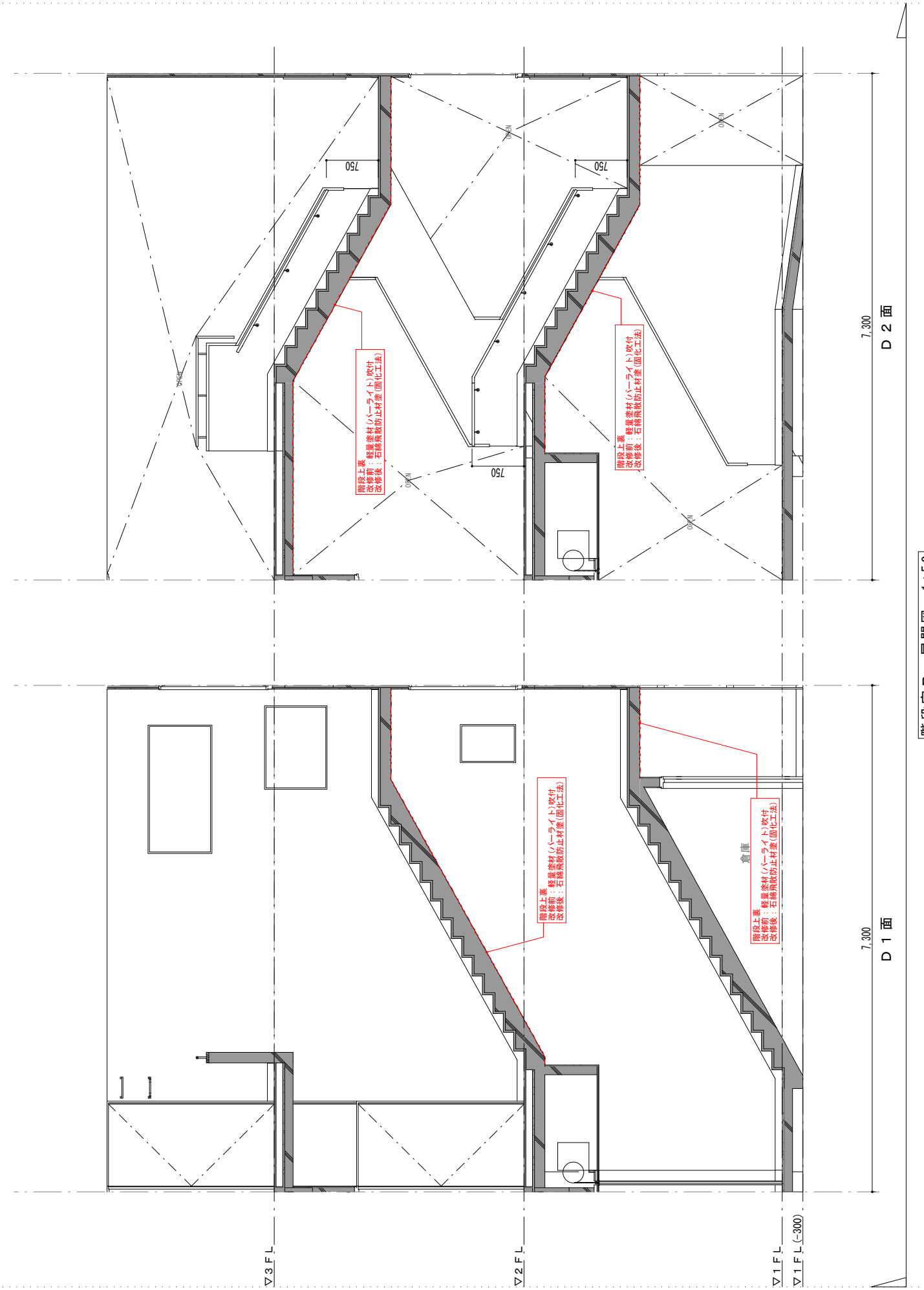
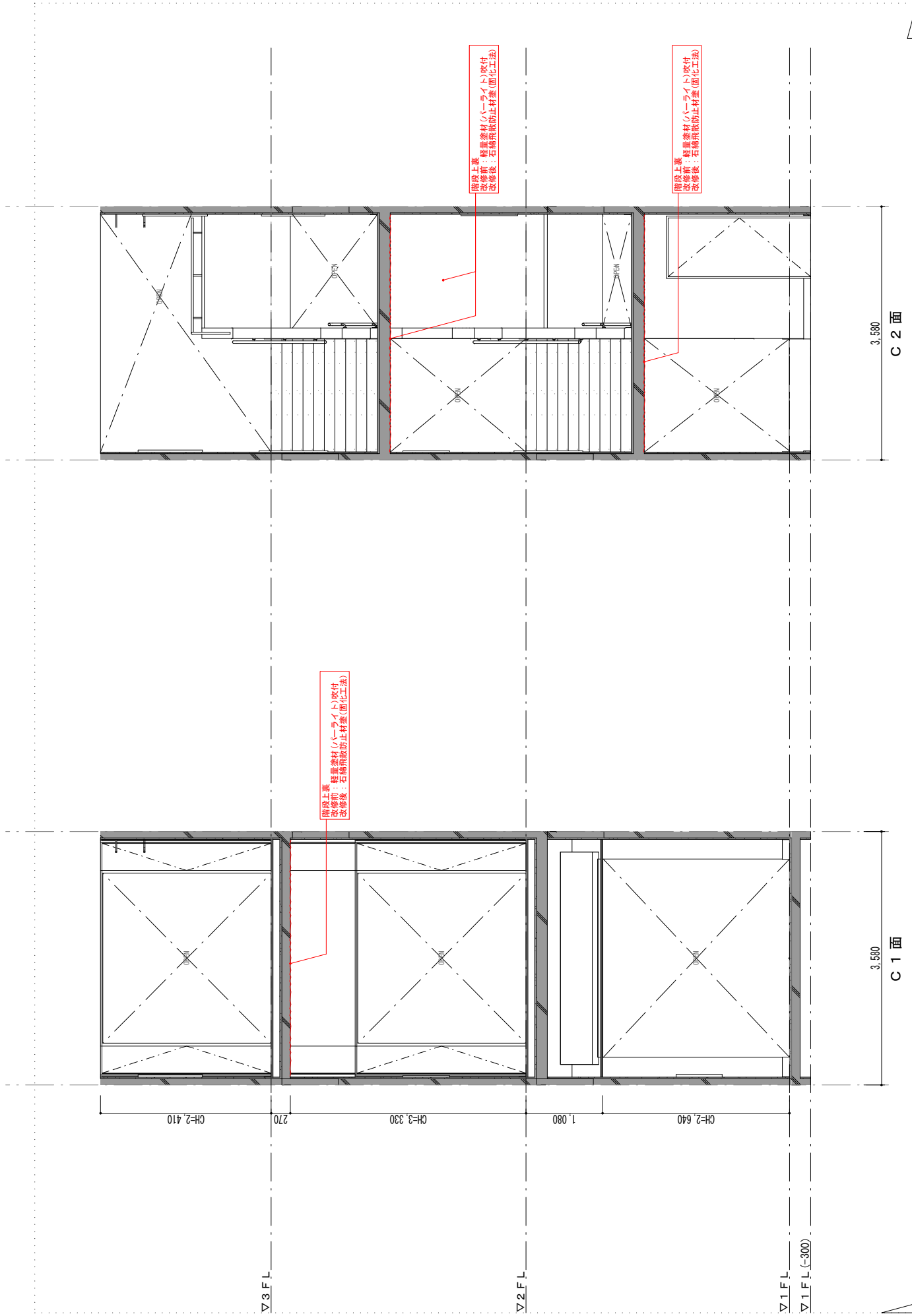




階段室B 展開図 1:50



階段室B 展開図 1:50

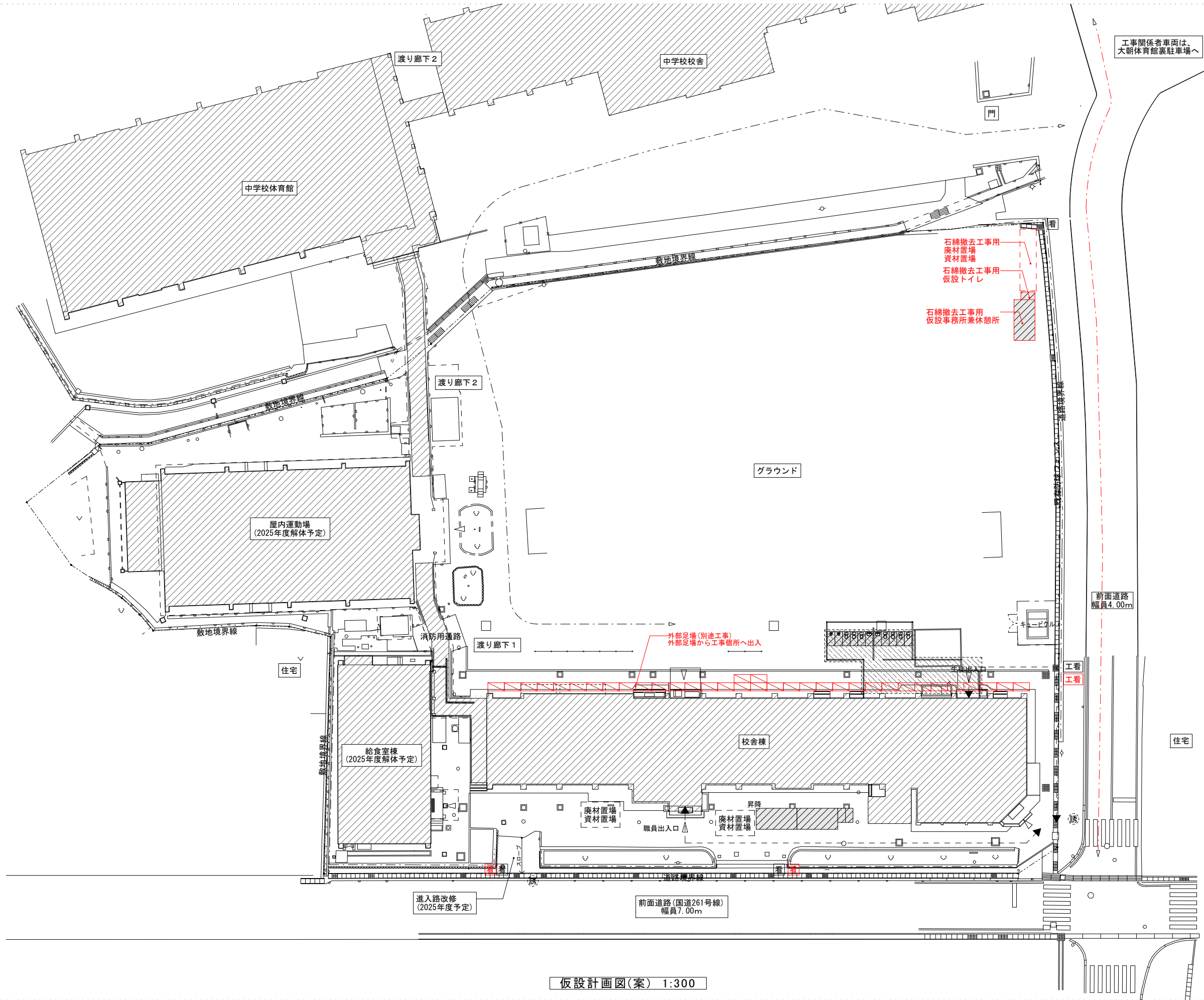


凡例

← - -	動線：工事関係進入経路
← - -	動線：施設利用者
— 仮 —	バリケードH1800程度
— 色 —	カラーコーン、コーンバー
Ⓢ	誘導員(臨時)
Ⓜ	工事中協力用看板
Ⓜ	工事用看板

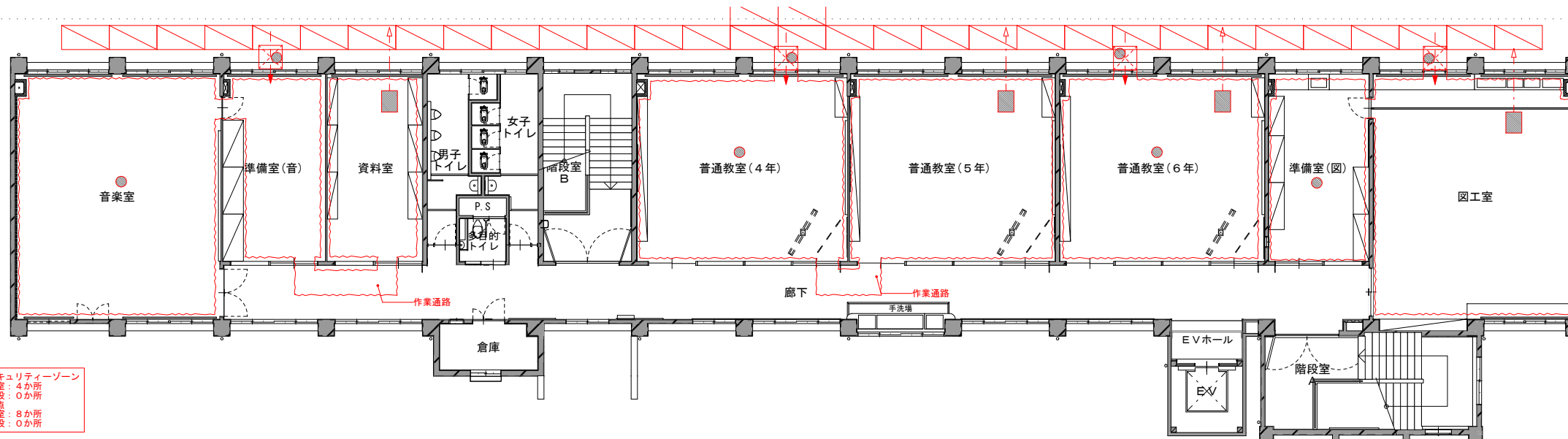
特記事項

- ・仮設図に記載された仮設資材等、また、概略工事工程表(別紙)は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全で、工期短縮を図る施工に努めること。
- ・材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。
- ・生徒が混雑する時間帯に車両の出入りがある場合は、交通誘導員を配置すること。
- ・工事関係者の駐車場は、大朝体育館の駐車場とする。
- ・作業員は基本的に、外部足場から各室に入り、安全性を配慮し、学校関係者との動線の交錯を避けること。
- ・別途工事(校舎改修工事)の施工業者との調整を積極的に行うこと。
- ・仮設事務所、産廃集積等の位置は、関係者と協議の上決定すること。



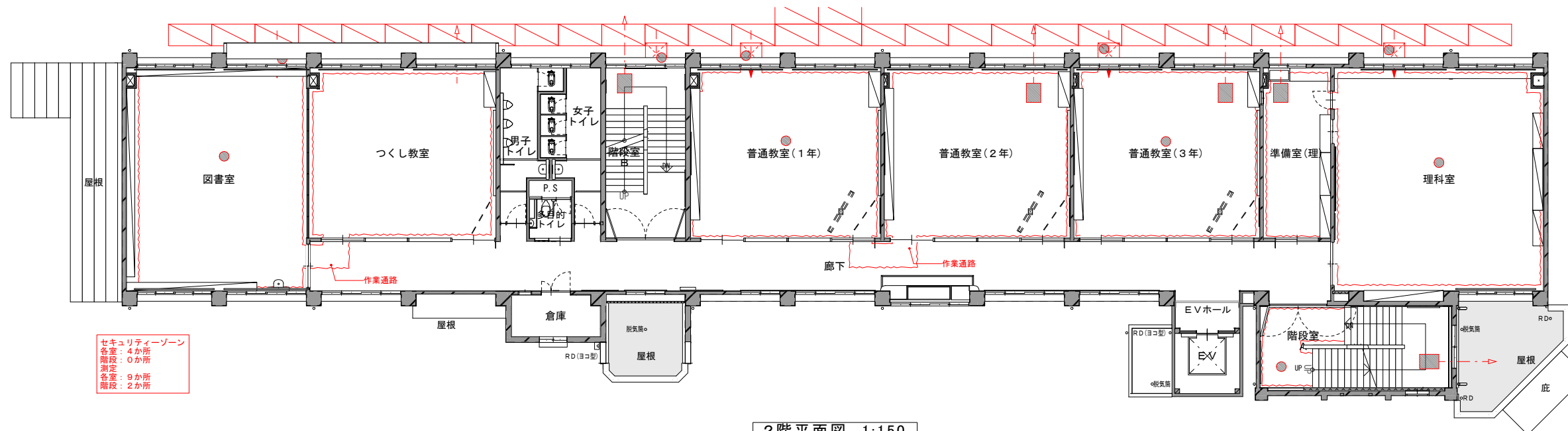
仮設計画図(案) 1:300





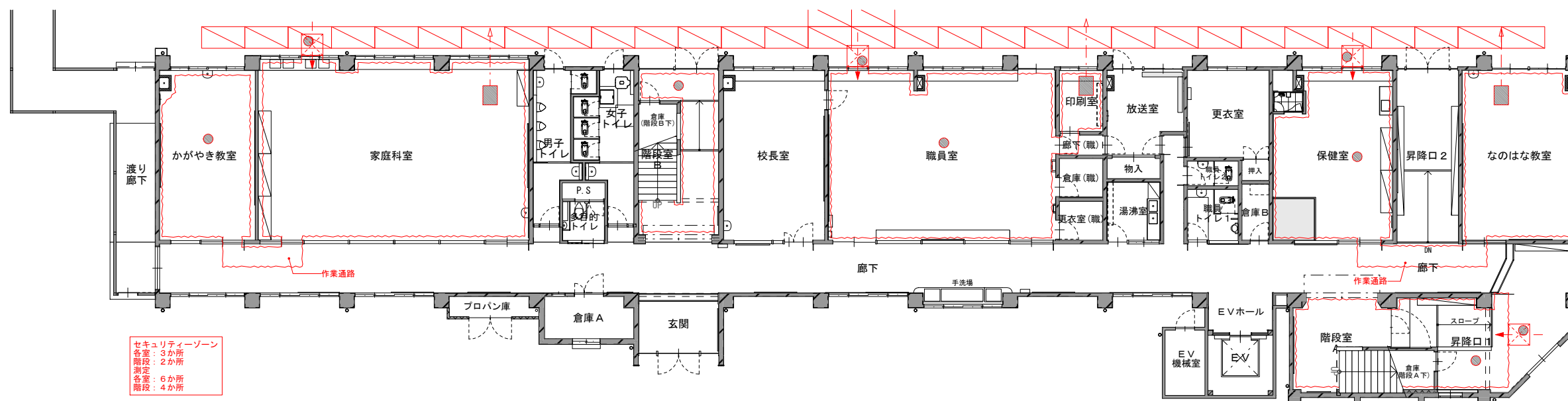
セキュリティゾーン  
 各室：4か所  
 階段：0か所  
 測点：8か所  
 階段：0か所

3階平面図 1:150



セキュリティゾーン  
 各室：4か所  
 階段：0か所  
 測点：9か所  
 階段：2か所

2階平面図 1:150



セキュリティゾーン  
 各室：3か所  
 階段：2か所  
 測点：6か所  
 階段：4か所

1階平面図 1:150

凡例

	セキュリティゾーン
	壁養生
	負担集塵機
	測定点
備考	床養生：0.15mm二重養生 壁養生：0.10mm一重養生 仮設計画は、発注者の考えを示したもので、実際の工程は関係者と協議の上決定すること。 できる限り夏休み期間で終わらせるように工程を配慮すること。 ワンフロア毎に工程を進めることを想定している。 工事関係者のみ出入りできるように管理すること。